

消防年報

平成26年



亀山市消防本部

(平成27年刊行)

「 豊かな自然・悠久の歴史 光ときめく亀山 」



亀山城多門櫓



関の山車



中の山パイロット



東海道五十三次「亀山宿」



市章

平成17年1月11日に亀山市と関町が合併し、新「亀山市」が誕生しました。新市の市章には、全国各地から1,863点の作品応募があり、選考の結果、左の作品が新「亀山市」の市章に決定しました。

これは、亀山市の特徴である豊かな自然や歴史文化を守り、さらに高めていく姿を大きな山並みとして表し、曲面(ウエーブ)はときめく亀山市の限りない発展を表しています。



市の木

市の木「杉」は、野登寺の杉並木や川俣神社、片山神社のご神木の杉など、市内を代表する歴史的な背景を持つ史跡とともに、古くからなじまれてきた木です。



市の花

市の花「花しょうぶ」は、亀山公園内の菖蒲園に100種2万株の花が咲き誇り、毎年6月には「花しょうぶまつり」が開かれるなど、なじみ深く親しみのある花です。

は じ め に

この年報は、亀山市の消防機関の組織実態等とともに、平成26年中における火災、救急・救助等の統計データを取りまとめ、市民の皆様に消防の現状についてご理解ご協力をいただくために編集しているものです。

なお、予算関係の数値は当初予算を記載し、災害統計は暦年、事業概要等は会計年度、その他は記載年月日としています。

平成27年7月

亀山市消防本部

目 次

1 概況

(1) 亀山市の沿革 -----	1
(2) 亀山市消防のあゆみ -----	2
(3) 亀山市勢 -----	11
(4) 市予算と消防予算の比較表 -----	12
(5) 消防庁舎の概要、消防車両等配置状況 -----	13
(6) 消防本部(署)車両紹介 -----	16
(7) 地区別各種災害出動件数表 -----	18
(8) 平成26年度中における主な行事等 -----	19

2 総務

(1) 消防本部・消防署組織、事務分掌 -----	21
(2) 歴代消防長一覧表 -----	23
(3) 職員配置表 -----	24
(4) 条例定数推移表 -----	25
(5) 消防職員数の累年比較表 -----	26
(6) 消防職員年令表 -----	27
(7) 職員各種免許等取得状況 -----	28
(8) 平成26年度主な事業(施設・備品整備)一覧表 -----	29

3 警防

(1) 火災発生状況 -----	30
(2) 10年間の火災件数・損害額等比較表 -----	31
(3) 出火原因別火災件数表 -----	32
(4) 月別火災状況 -----	33
(5) 出火時間帯別火災状況 -----	34
(6) 亀山市消防水利一覧表 -----	35
(7) 月別消防訓練指導回数表 -----	36

4 救急

(1) 救急出動状況 -----	37
(2) 年別救急出動状況 -----	38
(3) 月別救急出動件数表 -----	39
(4) 時間帯別救急出動件数表 -----	40
(5) 応急処置別件数表 -----	41
(6) 年令別搬送人員表 -----	42
(7) 月別救命講習参加人員表 -----	43

5 通信・指令

(1) 消防緊急通信指令システム概要 -----	44
(2) 月別気象状況 -----	45
(3) 年次別気象 -----	46

6 予防

(1) 防火対象物一覧表 -----	47
(2) 各種届出処理状況 -----	48
(3) 危険物製造所等の施設推移状況(完成検査済) -----	49
(4) 危険物製造所等申請・届出処理状況 -----	50
(5) 住宅用火災警報器に関するアンケート調査結果等 -----	51
(6) 幼少年・女性防火委員会加入団体一覧表 -----	52

7 消防団	
(1) 消防団組織 -----	53
(2) 歴代消防団長一覧表 -----	54
(3) 消防団員配置表 -----	55
(4) 消防団員年令表 -----	56
(5) 消防団車両等一覧表 -----	57
8 亀山市消防の歌-----	58

概況

亀 山 市 の 沿 革

亀山市の歴史は古く、鈴鹿の関は、越前の愛発、美濃の不破とともに日本三関と呼ばれ都と東国を結ぶ交通の要衝として栄え、江戸時代には、亀山宿、関宿、坂下宿が東海道の宿場町としてにぎわい、とりわけ、関宿は、西の追分で鈴鹿峠越えの東海道と加太越えの大和・伊賀街道へ、東の追分で東海道と伊勢別街道へ、それぞれ分岐していたため、参勤交代や伊勢参りなど、多くの旅人が往来しました。また、亀山宿では、亀山城を中心に形成され、現在の市街地の基礎となっています。

明治4年に廃藩置県、明治22年の新市町村制の施行に伴い戸数1,300戸、人口7,000人の亀山町が誕生、明治41年には更に1ヵ村を合併し人口も10,000人を数え、昭和29年（1954年）まで、この地域は亀山町、屋生村、井田川村、川崎村、野登村、白川村、神辺村、関町、加太村、坂下村の2町8村から構成されていました。

昭和29年10月に亀山町と屋生村、井田川村、川崎村、野登村が合併し、亀山市が新設され、その後、一部が鈴鹿市へ編入し、新たに白川村、神辺村の一部や芸濃町楠平尾を編入し、亀山市となりました。

関町については、昭和30年2月に関町に白川村、神辺村の一部を編入し、昭和30年4月に関町と加太村、坂下村が合併して関町が新設され、その後、一部が伊賀町へ編入し、新たに芸濃町萩原、福徳を編入して関町となりました。

平成17年1月11日には亀山市と関町が合併し、新「亀山市」が誕生しました。平成の大合併としては、県内で6番目の合併となり、人口は48,670人、面積が190.91km²で、いずれも県内市町村中10番目の規模となり現在の市の行政区域として、平成20年2月21日、「5万人都市」となりました。

亀山市誕生当時の昭和30年代は、まさに亀山市の成長期でありました。戦後処理のまださめやらぬ中で、保育所の建設、失業者対策、衛生施設の整備、道路交通網の整備、教育施設の整備等、文化的な生活を営む上で基本的に必要な生活基盤の整備を推進しました。

昭和40年代の日本経済の高度成長期には、能褒野工業団地に代表される企業誘致や住宅団地の造成等によって、産業構造や市民生活が大きく変化し、また昭和46年の台風23・29号や昭和49年の集中豪雨等の大災害に遭遇しましたが、これらに対応すべく産業基盤の整備、上水道の敷設、福祉施設の充実等、産業の近代化と社会福祉の向上を図りつつ、昭和50年代にスポーツ施設の建設、関西本線の電化推進、街路の整備、文化施設の建設及び生活環境施設等の整備充実に取り組みました。

現在は、“豊かな自然・悠久の歴史 光ときめく亀山”を実現するため、まちづくり基本条例の制定をはじめ、「市民力で地域力を高めるまちづくり」と安心安全に軸足を置いた、第1次亀山市総合計画後期基本計画を策定いたしました。いま、まさに市民が主役となった市民活動が展開されています。

亀 山 市 消 防 の あ ゆ み

- 昭和24年 2月 消防組織法(昭和23年法律第226号)に基づき亀山町消防本部を設置
消防職員4名(役場兼務職員を含む)、消防ポンプ自動車1台をもって自治体消防を発足する
- 昭和26年 2月 消防本部に水槽付消防ポンプ自動車1台配置
- 昭和27年 3月 日本消防協会から表彰旗を授与
- 昭和29年 3月 消防庁長官から竿頭綬を授与
- 10月 鈴鹿郡亀山町、川崎村、野登村、井田川村、及び屋生村の5ヶ町村が合併して市制を施行し「亀山市」を発足
市制施行により、亀山町消防本部を亀山市消防本部に名称替えを、また消防団は5団制をとる
- | | | | | | |
|---------|-----|------|------|-------------|----|
| 消防本部 | 1 | 消防職員 | 3名 | 水槽付消防ポンプ自動車 | 1台 |
| 消防団 | 5 | 消防団員 | 295名 | 消防ポンプ自動車 | 3台 |
| 手引動力ポンプ | 11台 | | | | |
- 昭和30年 2月 鈴鹿郡神辺村布気、太岡寺、山下、木下及び小野の一部並びに白川村白木、小川の区域を編入合併、旧神辺村、白川村消防団に加え7団制、団員366名となる
- 5月 各地区の旧消防関係条例を廃止し、亀山市消防に関する条例施行により消防団を総合再編成する
- | | | | | |
|----------|----|------|-------------|------|
| 消防団 | 1団 | 6ヶ分団 | 消防団員 | 366名 |
| 消防団の管轄区域 | | 第1分団 | (旧亀山町、井田川村) | |
| | | 第2分団 | (旧神辺村) | |
| | | 第3分団 | (旧屋生村) | |
| | | 第4分団 | (旧川崎村) | |
| | | 第5分団 | (旧野登村) | |
| | | 第6分団 | (旧白川村) | |
- 初代消防団長に伊藤栄二郎氏が就任
- 昭和31年 6月 消防本部に消防ポンプ自動車1台配置
- 6月 第4分団(太田)、第5分団(池山)、第6分団(小川)に小型動力ポンプ各1台配置
消防本部に中短波陸上無線電話(基地局1、移動局2)設置
- 昭和32年 5月 職員1名増員
- 9月 第2分団(山下)、第3分団(中庄)に小型動力ポンプ各1台配置
- 昭和33年 8月 職員2名増員
- 10月 消防本部に消防ポンプ自動車1台配置
- 昭和34年 4月 新消防庁舎を本丸町577に建設する
昭和34年4月10日着工 昭和34年6月23日竣工
木造亜鉛鉄瓦棒葺平屋建 建築面積 208.17㎡
- 8月 職員1名増員
- 12月 消防本部に中短波陸上無線電話の移動局(1)を増設
昭和34年9月、台風15号(伊勢湾台風)による風水害の災害救助、復旧に尽力し、消防団が国務大臣(中部日本災害対策本部長)から12月9日感謝状を授与
- 昭和35年 11月 第2分団(小野)、第5分団(坂本)に小型動力ポンプ各1台配置
- 12月 消防本部に中短波陸上無線電話の移動局(1)を増設
- 昭和36年 5月 第5分団(平尾)に運搬車1台配置
- 6月 職員2名増員
- 9月 第4分団(能褒野)、第6分団(松山)に小型動力ポンプ各1台配置
- 昭和37年 4月 消防本部に事務連絡用單車1台配置
- 5月 第4分団(南条)に運搬車1台配置、職員1名増員
- 10月 第3分団(三寺)、第6分団(松山)に小型動力ポンプ1台配置
- 11月 職員4名増員
- 昭和38年 10月 職員1名増員
- 昭和39年 1月 消防本部に運搬車1台配置
- 3月 消防本部に小型動力ポンプ1台配置し運搬車に積載する
- 7月 職員1名増員
- 11月 消防本部に水槽付消防ポンプ自動車1台配置し消防ポンプ自動車1台を第1分団へ配置替えする
- 昭和40年 4月 消防団条例の一部改正により消防団員を317名に削減、職員2名、女子事務員1名増員
- 8月 職員1名増員
- 10月 第5分団(安楽)に小型動力ポンプ1台配置
- 昭和41年 4月 職員8名増員

- 昭和42年 8月 第2分団(太岡寺)、第6分団(白木)に運搬車各1台配置、また第4分団(田村)に小型動力ポンプ1台配置
3月 元消防庁舎跡に鉄筋コンクリート造の新庁舎を建設
昭和42年4月1日着工 昭和42年10月30日竣工
4月 消防署を設置、名称を亀山市消防署とし、消防本部・署職員31名、水槽付消防ポンプ自動車2台、消防ポンプ自動車1台、職員5名増員
8月 第3分団(中庄)に運搬車1台配置
昭和43年 10月 亀山ライオンズクラブから気象観測計器(自記風向、風速計)の寄贈を受け、また自記雨量計、通風乾湿計等気象観測施設を設置
3月 昭和42年3月6日に発生した国道1号鈴鹿トンネル内の車両火災に際し、その消防活動の功績に対し消防本部、消防団が三重県知事から表彰を受ける
第4分団(南条)に小型動力ポンプ1台配置
5月 第5分団(平尾)の運搬車更新
9月 消防団条例の一部改正により消防団員を280名に削減
職員1名退職
昭和44年 4月 日本損害保険協会から「火災保険号」の寄贈を受け消防署に配置
8月 消防署に救急自動車1台配置
9月 政令指定により救急業務開始
第2分団(木下)、第5分団(辺法寺)、第6分団(白木)に小型動力ポンプ各1台配置
昭和45年 10月 中短波陸上無線電話(基地局1、移動局4)を超短波無線電話に全て切り替えるとともに移動局(2)を増設する 職員1名増員
消防団長伊藤栄二郎氏の退団(死亡)
12月 消防団長に一見忠夫氏が就任
昭和46年 4月 職員3名増員
6月 第4分団(徳原)に小型動力ポンプ1台配置
7月 消防署に運搬車1台配置
昭和47年 3月 宮西昌雄氏から寄付金を受け「空気呼吸器3基」「超短波無線電話1基」を購入し消防署に配置
9月 消防署に携帯超短波無線電話1基配置
12月 第2分団(中村)、第5分団(原尾)小型動力ポンプ各1台配置
昭和48年 2月 職員1名退職
3月 消防署に消防ポンプ自動車1台を配置し、消防署の消防ポンプ自動車1台を第1分団(本町)に配置替
三重県消防大会(3月29日)において三重県知事から優良消防団として竿頭綬を授与
4月 消防署に携帯用超短波無線電話2基配置 職員3名増員
6月 第1分団(本町)、第4分団(南条)の運搬車更新
8月 第1分団(本町)に小型動力ポンプ1台配置、運搬車に積載
昭和49年 2月 消防署にII型化学消防自動車1台配置
3月 成田正次、中島 高、両氏から寄付金を受け「携帯用酸素切断機1台」、「背負式消火水のう8基」を購入し消防署に配置
4月 職員1名欠員補充
6月 消防署に広報車(1600cc)1台配置
9月 第3分団(三寺)、第6分団(松山)に小型動力ポンプ各1台配置
昭和50年 3月 第1分団(川合)、第6分団(小川)分団車庫新築
4月 職員2名欠員補充
7月 第4分団(太田)分団車庫新築
消防本部組織を一部改正し、新しく危険物係を設置
8月 第4分団(太田)、第5分団(池山)の小型動力ポンプ更新
11月 三重県知事から7月未明の集中豪雨の功労に対し表彰状を授与
昭和51年 4月 職員4名欠員補充
5月 石井彦一郎氏から、単車(125cc)の寄贈を受け消防署に配置
10月 三重県共済農業組合連合会から救急車(2B型)の寄贈を受け消防署に配置
第2分団(山下)、第3分団(中庄)の小型動力ポンプ更新
昭和52年 2月 第3分団(下庄)、第4分団(田村)分団車庫新築
3月 第5分団(平尾)分団車庫新築、移転
職員1名退職
4月 職員4名欠員補充
10月 第2分団(小野)、第6分団(小川)の小型動力ポンプ更新
昭和53年 1月 第5分団(辺法寺)分団車庫新築
4月 職員4名欠員補充
職員1名退職
8月 第4分団(能褒野)、第5分団(坂本)の小型動力ポンプ更新

昭和53年	9月	消防署に車載用超短波無線機2台配置
	10月	第6分団(上白木)分団車庫新築
	12月	第5分団(原尾)分団車庫増築
	4月	消防長(初代専任)三宅長治氏が就任 職員4名欠員補充
	7月	消防本部及び消防署の機構改革を図る 本部に庶務係、予防係、危険物係、防災係、企画係の5係を消防署に消防第一・第二係、救急通信第一・第二係の4係
昭和54年	9月	関町と亀山市との間における消防事務の事務委託に関する規約を議決 小型動力ポンプ付積載車を消防団本部(本町)、第1分団(井田川)、第5分団(平尾)に配置 小型動力ポンプ台車付1台を第3分団(下庄)に配置(更新)
	10月	自動遠隔サイレン吹鳴装置、基地局1基、子局3基(太岡寺町、白木町、川崎町)設置
	11月	日本損害保険協会から「火災保険号」の寄贈を受け消防署に配置
	2月	事務委託に関する規約に基づき、協定書及び覚書の調印を行った 消防署にトヨタ2B型救急車配置及び移動用10W無線機を積載
	3月	関町と亀山市との広域消防施行式を商工会館にて挙行 第4分団(南条)に分団車庫新築
	4月	関町と亀山市との間における消防事務の事務委託業務を開始 広域消防整備計画に基づき消防職員11名を増員
	9月	自動遠隔サイレン吹鳴装置、子局4基(井田川、昼生、平尾、池山)設置 関分署庁舎竣工式
	10月	亀山市消防署関分署開署式挙行、分署長以下15名職員を配置し分署業務を開始 消防事務委託に関する規約及び協定書に基づき、分署の施設・備品の整備について覚書を交換し、その体制を整える 小型動力ポンプ付積載車1台を第6分団(白木)に配置、小型動力ポンプ付積載車1台を第3分団(中庄)に配置(更新)
	4月	職員1名退職
	5月	消防本部に広報車(1400cc)1台配置
昭和55年	7月	亀山市防火協会の発足 消防署に携帯用超短波無線電話5W4基配置
	8月	災害情報等自動案内装置(機種ゼネラル)1台消防署に配置
	10月	山林火災用軽四輪積載車(550cc)1台消防署に配置 小型動力ポンプ付積載車(B3級)2台、第2分団(太岡寺)、第4分団(南条)に配置(更新)
		職員1名欠員補充
	3月	第2分団(神辺)分団車庫新築 消防団長一見忠夫氏退団
昭和56年	4月	消防団長に村山守氏が就任 亀山・関地域ガス安全対策連絡協議会発足
	5月	消防本部及び消防署の機構改革を図る 本部に庶務係、警防係、予防係、危険物係4係を、消防署に新たに装備係を設置
	1月	亀山市消防の歌制定
昭和57年	8月	団本部に小型動力ポンプ付積載車(B3級)1台配置 第5分団(安楽)に小型動力ポンプ(B3級)1台配置
	11月	関分署に水槽付消防ポンプ車(I-B型 A2級)1台配置
	1月	消防本部及び消防署の機構改革を図る 本部に総務係、予防係、消防署に警防係、査察係、訓練指導係、装備係、関分署に警防係を設置 職員1名退職
昭和58年	3月	第6分団(白川、松山)分団車庫新築
	11月	消防署に水槽付消防ポンプ自動車(I-B型 A2級)1台配置
	12月	消防署に救急医療情報システム設置
	2月	職員1名退職
	3月	消防長三宅長治氏退職 消防署に通信指令係を設置
昭和59年	4月	消防長に下條繁氏が就任 第5分団(池山)分団車庫新築
	12月	幼年消防クラブ(4クラブ)設立
	2月	第1分団(本町)分団詰所改築工事
	3月	第36回三重県消防大会 亀山市文化会館にて開催 職員2名退職 移動用無線機5W 2基購入
	4月	職員2名欠員補充 消防本部組織の一部改正により、消防署に整備指導係を設置
昭和60年		

	消防団再編成計画により、消防団員定員280名を262名に再編成
	8月 亀山関幼年婦人防火委員会設立
	9月 第4分団(田村)の小型動力ポンプ(B3級)更新
	10月 亀山ライオンズクラブから救急車(2B型)の寄贈を受け消防署に設置
昭和61年	12月 平尾婦人防火クラブ(1クラブ)設立
	4月 消防団再編成計画により、消防団員定員262名を251名に再編成
	5月 消防本部の広報車(1600cc)更新
	6月 職員1名退職
	10月 第1分団(羽若)分団車庫新築(増)
	第1分団(羽若)に小型動力ポンプ付積載車(B3級)1台配置
昭和62年	11月 昼生地区コミュニティ消防センター新築
	消防署に消防専用超短波無線機固定用10W1台配置
	2月 第3分団(中庄)、第5分団(平尾)、第6分団(白木)に林野火災用軽可搬式ポンプ(D1級)各1台配置
	3月 自治省消防庁から消防庁長官表彰旗を授与
	カメヤマローソク(株)から消防資金として100万円寄贈(空気呼吸器資金)
	4月 職員1名欠員補充
	消防団再編成計画により、消防団員定員251名を243名に再編成
	7月 消防署関分署に広報車(1600cc)1台配置
	11月 第2分団(木下)に小型動力ポンプ(B3級)1台配置
	12月 空気呼吸器150kgf/cm ² 10基購入
昭和63年	3月 本町地区防災センター新築
	第1分団(天神)分団車庫新築(積載車1台配置)
	4月 消防団再編成計画により、消防団員定員243名を240名に再編成(再編成計画終決)
	7月 三重県消防団長会議 亀山市文化会館にて開催
	野登地区(辺法寺、原尾、安楽、池山、坂本)婦人防火クラブ(5クラブ)設立
	10月 山林火災用軽四輪積載車(550cc)1台消防署に配置(更新)
	第5分団(辺法寺)の小型動力ポンプ(B3級)更新
	11月 第2分団(布気)分団車庫新築(増)
	12月 第2分団(布気)に小型動力ポンプ付積載車(B3級)1台配置
	携帯用無線機(5W)5基購入
平成元年	5月 関地区(市瀬)婦人防火クラブ(1クラブ)設立
	8月 (財)日本消防協会から、平尾婦人防火クラブに軽可搬(D1級)1台寄贈
	10月 (財)日本消防協会から、携帯用無線機10基、携帯拡声器2台の寄贈を受ける
	11月 第6分団(上白木)の小型動力ポンプ(B3級)更新
	防災行政用無線機を消防団積載車搭載 10基
	12月 消防署の消防ポンプ自動車(CD-I型、A2級)更新
	亀山3号を第1分団本町車庫に配置替え
平成 2年	2月 (財)日本消防協会から、亀山市消防団に竿頭綬を授与
	3月 第2分団(山下、木下)分団車庫新築移転
	7月 職員1名退職
	8月 (財)日本消防協会から救急自動車(2B型)寄贈
	団本部に小型動力ポンプ付積載車(B3級)更新
	9月 第4分団(徳原)、第5分団(原尾)の小型動力ポンプ(B3級)更新
	10月 第6分団(松山)に山林火災用軽四輪積載車1台配置(増)
	12月 消防署関分署の救急車(2B型)更新
平成 3年	1月 第3分団(三寺)分団車庫新築移転
	2月 消防署の化学消防ポンプ自動車(II型・A2級)更新
	空気呼吸器300kgf/cm ² 5基購入
	3月 消防長下條繁氏退職
	消防団長村山守氏退団
	4月 消防長に田名瀬治好氏就任
	消防団長に鈴木吉男氏就任
	職員2名欠員補充
	5月 消防本部の指令広報車(1800cc)更新
	9月 第1分団(井田川)の小型動力ポンプ付積載車(B3級)更新
	10月 第6分団(松山)の小型動力ポンプ(B3級)更新
	消防署の軽可搬小型動力ポンプ(C1級)更新
	11月 第5分団(池山)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配置(増)
平成 4年	1月 (社)日本自動車工業会から救急自動車(2B型)寄贈
	2月 消防署の救急自動車(2B型)更新
	第5分団(坂本)分団車庫新築移転

	4月	職員1名欠員補充
	7月	消防本部の指揮車(2000cc)更新
	8月	第1分団(天神)、第5分団(平尾)の小型動力ポンプ付積載車(B3級)更新
	10月	第3分団(下庄)の山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配置(増) 第3分団(三寺)の小型動力ポンプ(B3級)更新
平成 5年	12月	消防署の消防ポンプ自動車(CD-I型、A2級)更新
	1月	第2分団(小野)分団車庫新築移転 関分署管内119番の本署統合、通信の一元化
	3月	亀山6号を第1分団本町車庫配置替え(更新)
平成 6年	9月	第3分団(中庄)、第6分団(白木)の小型動力ポンプ付積載車(B3級)更新
	1月	第5分団(池山)の小型動力ポンプ(B3級)更新
	3月	防災ヘリ用消防無線機(基地局・固定局)1基増設 消防無線設備周波数変更(153.55MHzを151.31MHz) 消防署救急自動車(2B型)を高規格救急車に更新 救急用資器材(EOG滅菌器、気管挿入モデル、SpO ₂ 測定器等 10点)配備 第4分団(徳原)、第5分団(安楽)分団車庫新築移転 第4分団(田村)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配置(増) 第5分団(池山)の小型動力ポンプ(B3級)更新
	4月	職員2名増員
	6月	高規格救急車 車両機装(自動車FAX、バックアイカメラ・モニター外5点) 白川地区(小川町)小川婦人防火クラブ(1クラブ)設立
	7月	消防本部、消防署機構改革 本部の消防課に企画整備係と危険物係を、消防署に救急通信担当司令、警防担当司令と救急係を新設 救急用資器材配備(自動式人工呼吸器、自動心肺蘇生装置、在宅医療処置用セット外5点) 職員1名退職
	10月	消防庁舎移転用地無線伝播調査
	11月	救急救命士資格取得1名 消防庁舎移転用地買収(野村四丁目1279-2)
平成 7年	12月	第2分団(布気)消防詰所増築
	1月	阪神、淡路大震災に伴う出動(消火隊)
	3月	消防庁舎移転用地地質調査 亀山市消防庁舎設計監理委託(梓設計) 第2分団(太岡寺)、第4分団(南条)の小型動力ポンプ付積載車(B3級)更新 消防長田名瀬治好氏退職
	4月	消防長に羽田野勇喜男氏就任 消防本部の機構改革 予防課を新設 職員2名増員
	6月	消防本部の防火広報車(亀山4)更新
	9月	宮西祥雄氏から耐ガス密封防護服2着、複合ガス検知器1基、防毒衣3着の寄贈を受け消防署に配備
平成 8年	12月	消防庁舎新築移転工事着工
	1月	第4分団(太田)の小型動力ポンプ(B3級)更新
	2月	第3分団(三寺)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配備(増)
	3月	第6分団(小川)分団車庫改築
	4月	職員2名増員 亀山地区 楠平尾婦人防火クラブ(1クラブ)設立
	5月	救急救命士資格取得1名
	8月	関地区「関町スポーツ少年団」少年消防クラブ(1クラブ)設立
平成 9年	12月	関分署の消防ポンプ自動車(CD-1)関1 更新
	2月	第2分団(山下)の小型動力ポンプ(B3級)更新 第6分団(小川)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配備(増)及び小型動力ポンプ(B3級)更新 高度救急処置シュミレーター(救急処置用人形一式、心肺蘇生用訓練人形一式) 亀山市野村四丁目1番23号に新消防庁舎建築工事完了 庁舎棟 鉄筋コンクリート造3階建 建築面積 1,683.20㎡ 延べ面積 2,479.71㎡ 訓練塔(主塔) 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建 建築面積 30.25㎡

	延べ面積	90.75㎡
	訓練塔(副塔)	
	鉄骨造3階建	
	建築面積	29.03㎡
	延べ面積	49.52㎡
平成10年	3月	消防緊急通信指令施設(Ⅰ型)設置工事完了 防災展示コーナー(消防プラザ)設置工事完了 第4分団(能褒野)分団車庫改築 第5分団(池山)にホース干し鉄塔建設 職員3名退職
	4月	亀山市消防本部、亀山消防署、新庁舎竣工運用開始 亀山市消防本部、亀山消防署機構改革に伴い消防本部に通信指令室を新設 関分署を関消防署に昇格、1本部2署体制とする 職員3名欠員補充
	5月	救急救命士資格取得1名
	6月	消防本部に事務連絡用軽四輪車1台配備(増)
	8月	消防無線機(移動局10W2台、携帯局5W8台)更新
	10月	消防団長鈴木吉男氏退任
	11月	消防団長に葛西行弘氏が就任 消防緊急通信指令施設指令伝送出力装置設置工事完了(市役所内2箇所に設置)
	12月	第5分団(辺法寺)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配置(増) 第2分団(小野)、第4分団(能褒野)、第5分団(坂本)の小型動力ポンプ(B3級)更新
平成10年	3月	亀山消防署に救助工作車Ⅱ型1台配置(増) 第49回三重県消防大会 亀山市文化会館にて開催 職員1名退職
	4月	職員1名欠員補充 1名増員 三重県防災航空隊派遣1名
	5月	第49回全国消防長会救急委員会 亀山市消防庁舎、亀山市文化会館にて開催
	10月	移動体電話119番通報運用開始
	12月	第2分団(木下)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配置(増) 第3分団(下庄)の小型動力ポンプ(B3級)更新
平成11年	3月	第5分団(辺法寺)ホース干し鉄塔建設 消防長羽多野勇喜男氏退職 職員1名退職
	4月	消防長に三宅昭之氏就任 亀山市消防団規則の一部改正に伴い6分団制から7分団制に組織改革 第1分団(亀山) 第2分団(神辺) 第3分団(屋生) 第4分団(川崎) 第5分団(野登) 第6分団(白川) 第7分団(井田川) 組織改革に伴い第1分団(井田川消防車庫)を第7分団(川合消防車庫)に変更 職員1名欠員補充
	5月	救急救命士資格取得1名
	9月	第7分団(みどり町)分団車庫及びホース干し鉄塔新築
	12月	消防団本部の小型動力ポンプ付積載車(亀山1)更新 第7分団(みどり町)に小型動力ポンプ付積載車1台配置(増) 第5分団(安楽)の小型動力ポンプ(B3級)更新
平成12年	2月	亀山消防署の山林火災用軽四輪積載車(亀山5)更新
	3月	職員1名退職
	4月	職員1名欠員補充
	5月	救急救命士資格取得1名
	11月	職員1名退職
平成13年	1月	第1分団(本町)の小型動力ポンプ付積載車1台更新
	2月	亀山消防署の水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型(亀山7)1台更新
	3月	職員1名退職
	4月	職員2名欠員補充
	5月	救急救命士資格取得1名 消防本部の指令広報車(亀山52)更新
	11月	関消防署 救急自動車(2B型)を高規格救急車に更新
	12月	職員1名退職

平成14年	3月	第1分団(羽若)の小型動力ポンプ付積載車1台更新 消防長三宅昭之氏退職 職員1名退職
	4月	消防長に米田功氏就任 職員2名欠員補充 平成14年度全国消防長会東海支部総会 亀山市文化会館にて開催
	5月	救急救命士資格取得1名
平成15年	12月	亀山消防署 救急自動車(2B型)を高規格救急車に更新
	3月	関消防署新庁舎竣工運用開始 構造 木造2階建一部鉄筋コンクリート造 敷地面積 2,256.02㎡ 建築面積 685.43㎡ 延べ面積 781.03㎡
		職員1名退職
平成16年	4月	消防職員の条例定員67名を71名に改正 職員3名増員 1名欠員補充 消防団員再編成計画により、消防団員定員240名を270名に再編成
	5月	救急救命士資格取得1名 緊急消防援助隊登録(消火隊)
	8月	桑名郡多度町三重ごみ固形燃料(RDF)発電所火災に三重県内消防相互応援協 定に基づき出動
平成16年	11月	自治体消防55周年記念式典参加(東京都)
	1月	消防本部の消防長車(亀山51)更新
	2月	関消防署の水槽付消防ポンプ自動車(A-2)更新
平成16年	3月	亀山消防署に30m級はしこ付消防ポンプ自動車配置 ISO14001認証取得
	4月	亀山消防署の救助工作車を関消防署へ配置替え 職員1名欠員補充 亀山市消防団規則の一部改正に伴い7分団制から8分団制に組織改革、並びに 女性消防団発足 第1分団(亀山地区北部) 第2分団(神辺地区) 第3分団(屋生地区) 第4分団(川崎地区) 第5分団(野登地区) 第6分団(白川地区) 第7分団(井田川地区) 第8分団(亀山地区南部)
	7月	福井県福井市内において水害事故発生に伴い、緊急消防援助隊(三重県隊)として出動
平成17年	12月	消防防災備蓄倉庫竣工 構造 鉄骨造2階建 延べ面積 163.9㎡
	1月	11日、亀山市と関町(1市1町)による市町村合併により新市誕生 合併に伴い、消防団組織の見直しを行い、一団制、12分団及び女性分団が発 足し、定員415名となる。
	4月	職員2名増員 三重県消防学校教官派遣1名
平成18年	5月	救急救命士資格取得1名
	7月	消防本部広報車(亀山61更新)
	10月	移動体電話119番直接受信運用開始
平成18年	2月	第8分団(阿野田)分団車庫及びホース干し鉄塔新築、小型動力ポンプ付き積 載車1台配置(増)
	3月	消防長米田功氏退職 職員3名退職
	4月	消防長に竹内清氏就任 消防職員の条例定員71名を76名に改正 職員5名採用 三重県消防学校教官派遣1名
平成19年	5月	救急救命士資格取得1名
	3月	第9分団(関地区消防団詰所)積載車更新 亀山消防署 高規格救急車(救急亀山2)を更新 職員3名退職
	4月	職員5名採用
平成19年	5月	救急救命士資格取得1名 操法用小型動力ポンプ購入

平成20年	第4分団（田村車庫）小型動力ポンプ更新
	8月 第9分団（新所車庫）小型動力ポンプ付積載車購入
	12月 亀山消防署 消防ポンプ自動車CD-1を更新
	2月 新名神高速道路供用開始
	3月 第4分団田村車庫改築及びホース干しボール設置 職員5名退職
平成21年	4月 消防職員の条例定員76名を73名に改正 職員2名採用 三重県と人事交流 防災危機管理部 消防・保安室 派遣1名 三重県消防学校教官派遣1名
	5月 救急救命士資格取得1名
	6月 第12分団（加太地区消防団詰所）積載車更新
	12月 第2分団（布気車庫）小型動力ポンプ付積載車更新
	2月 第3分団（下庄）分団車庫改築
平成22年	3月 化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を災害対応特殊化学消防ポンプ自動車（Ⅲ型）に更新
	5月 救急救命士資格取得1名
	12月 第11分団（沓掛車庫）小型動力ポンプ付積載車更新
	第4分団（太田）分団車庫改築
	3月 消防緊急通信指令設備一部改修 第4分団（能褒野車庫）小型動力ポンプ付軽四輪積載車1台配置（増） 消防長竹内清氏退職
平成23年	4月 消防長に渥美正行氏就任 職員1名採用 三重県防災航空隊派遣1名
	5月 救急救命士資格取得1名
	7月 消防救助技術全国大会へ派遣（2名）
	11月 第5分団（池山車庫）小型動力ポンプ付軽四輪積載車更新
	12月 関消防署指令広報車更新
平成24年	3月 東日本大震災に伴い、緊急消防援助隊（三重県隊）として出動 職員2名退職
	4月 職員2名採用
	5月 救急救命士資格取得1名
	7月 亀山市消防力適正配置調査の実施
	10月 第3分団（中庄車庫）小型動力ポンプ付積載車更新
平成25年	12月 高規格救急車（救急関1）更新
	2月 第11分団（坂下）車庫改築
	3月 第6分団（松山車庫）小型動力ポンプ付軽四輪積載車更新 常備消防力適正配置調査完了 職員1名退職
	4月 消防職員の条例定員73名を83名に改正 職員3名増員 亀山市消防本部組織規則を改正し、北東分署建設準備室、指揮支援隊を設置
	5月 救急救命士資格取得2名
平成26年	6月 職員1名退職
	12月 第7分団（川合車庫）小型動力ポンプ付積載車更新 第10分団（萩原車庫）小型動力ポンプ付積載車更新 指揮支援隊に指揮車（亀山51）を配置
	2月 亀山市消防力充実強化プラン策定
	3月 亀山消防署 消防ポンプ自動車CD-1を更新 第10分団（会下）車庫新築移転 職員1名退職
	4月 消防団長葛西行弘氏退団 消防団長に松尾幸夫氏が就任 職員5名採用 三重県消防学校教官派遣 山岳救助隊発足 消防職員意見発表会（東海地区）へ派遣（1名）
平成26年	5月 救急救命士資格取得2名 救急ワークステーション試行運用開始
	12月 第11分団（市場車庫）小型動力ポンプ付積載車更新
	2月 第9分団（詰所）消防ポンプ自動車をCD-1に更新
	3月 消防指令センター高機能化更新 消防長渥美正行氏退職 職員3名退職
	4月 消防長に中根英二氏就任 職員5名採用 亀山市消防本部組織規則を改正し、消防救急室を設置

平成26年 5月 救急救命士資格取得2名
 救急ワークステーション本格運用開始
 6月 職員1名退職
 12月 女性分団 小型動力ポンプ付軽積載車新規導入
 第3分団（下庄車庫）小型動力ポンプ付軽積載車更新
 第8分団（天神車庫）小型動力ポンプ付普通積載車更新
 平成27年 3月 職員3名退職
 高規格救急車2台更新（救急亀山1、救急亀山5）
 北東分署庁舎竣工
 構 造 鉄筋コンクリート一部鉄骨造平屋建て
 敷地面積 9,378.26㎡
 建築面積 863.98㎡
 延べ面積 832.72㎡
 4月 職員6名採用
 職員1名退職
 北東分署運用開始
 消防救急デジタル無線（活動波）運用開始 ※主運用波は三重県が整備
 北東分署の開署に伴い亀山市消防本部及び消防署の設置等に関する条例を改正
 し、1本部1署2分署体制に組織を改編する。
 5月 救急救命士資格取得2名

亀 山 市 勢

面 積 191.04 km²

人 口 49,800 人

世 帯 数 20,576 世帯

(行政人口 平成27年4月1日現在)

消 防 本 部 設 置 年 月 日 昭和24年 2月11日

亀 山 市 消 防 署 設 置 年 月 日 昭和42年 4月 1日

亀山市消防署関分署設置年月日 昭和54年 10月 1日

亀 山 消 防 署 設 置 年 月 日 平成9年 4月 1日

関 消 防 署 設 置 年 月 日 平成9年 4月 1日

亀山消防署関分署設置年月日 平成27年 4月 1日

亀山消防署北東分署設置年月日 平成27年 4月 1日

消 防 本 部、 亀 山 消 防 署 所 在 地 三重県亀山市野村四丁目1番23号

亀 山 消 防 署 関 分 署 所 在 地 三重県亀山市関町木崎37番地1

亀 山 消 防 署 北 東 分 署 所 在 地 三重県亀山市長明寺町842番地1

人 口 等 に 対 す る 消 防 力 の 比 較 表

(H27. 4. 1現在)

消 防 本 部 ・ 消 防 署	消 防 吏 員 83 名	吏 員 1 名 に 対 す る	面 積	2.30 km ²
			人 口	600 人
			世 帯 数	247.90 世帯
	消 防 ポ ン プ 7 台	ポ ン プ 1 台 に 対 す る	面 積	27.29 km ²
			人 口	7,114 人
			世 帯 数	2,939.43 世帯

市 予 算 と 消 防 予 算 の 比 較 表

(単位 千円)

区分 年度	市予算額	消防予算額	比率 (%)	備 考
平成 2 0 年度	23,120,600	806,476	3.5	当初予算
平成 2 1 年度	19,445,800	712,118	3.7	〃
平成 2 2 年度	20,895,000	813,392	3.9	〃
平成 2 3 年度	19,885,000	785,404	3.9	〃
平成 2 4 年度	21,178,800	824,322	3.9	〃
平成 2 5 年度	20,945,100	1,129,643	5.4	〃
平成 2 6 年度	20,639,800	1,805,343	8.7	〃
平成 2 7 年度	20,402,500	918,050	4.5	〃

消 防 予 算 表

(単位 千円)

区分 年度	合 計	常備消防費	非常備消防費	消防施設費
平成 2 0 年度	806,476	599,991	63,049	143,436
平成 2 1 年度	712,118	586,767	58,931	66,420
平成 2 2 年度	813,392	674,783	60,684	77,925
平成 2 3 年度	785,404	604,719	57,945	122,740
平成 2 4 年度	824,322	635,322	58,514	130,486
平成 2 5 年度	1,129,643	712,164	57,552	359,927
平成 2 6 年度	1,805,343	660,856	56,711	1,087,776
平成 2 7 年度	918,050	772,643	55,707	89,700

消 防 庁 舎 の 概 要 、 消 防 車 両 等 配 置 状 況

亀山市消防本部・亀山消防署

庁舎の概要	所 在 地	〒519-0165 三重県亀山市野村四丁目1番23号
	電 話	0595-82-0244（代表）
	構 造	鉄筋コンクリート造 3階建
	敷 地 面 積	6,121.26㎡
	建 築 面 積	1,683.20㎡
	延 べ 面 積	2,479.71㎡
	竣 工	平成9年4月1日
配置車両	救 助 工 作 車	1台
	水槽付消防ポンプ自動車	1台
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	1台
	はしご付消防ポンプ自動車	1台
	小型動力ポンプ付積載車	1台
	指 揮 車	1台
	指 令 広 報 車	2台
	高規格救急自動車	2台(内予備車1台)
	事務連絡車等	2台
	小 型 動 力 ポ ン プ	2台



亀山消防署関分署

庁舎の概要	所在地	〒519-1107 三重県亀山市関町木崎37番地1
	電話	0595-96-1780
	構造	木造2階建一部鉄筋コンクリート造
	敷地面積	2,256.02㎡
	建築面積	685.43㎡
	延べ面積	781.03㎡
	竣工	平成15年3月20日
配置車両	水槽付消防ポンプ自動車	1台
	消防ポンプ自動車	1台
	化学消防ポンプ自動車	1台
	指令広報車	1台
	高規格救急自動車	1台



亀山消防署北東分署

庁舎の概要	所在地	〒519-0214 三重県亀山市長明寺町842番地1
	電話	0595-84-1096
	構造	鉄筋コンクリート一部鉄骨造平屋建
	敷地面積	9,378.26㎡
	建築面積	863.98㎡
	延べ面積	832.72㎡
	竣工	平成27年3月10日
配置車両	消防ポンプ自動車	1台
	高規格救急自動車	1台
	小型動力ポンプ付積載軽四輪車	1台



消 防 本 部 （ 署 ） 車 両 紹 介

はしご付消防ポンプ自動車

年式 平成16年

油圧駆動式のはしごを最大30mまで伸ばすことが可能で、はしご先端から放水活動や高層建物での人命救助活動などを行います。



化学消防ポンプ自動車

年式 平成21年

消火用の水に、圧縮空気と消火原液を混ぜて、発泡させる装置があり、泡を作りだし、空気を遮断し消火します。高速道路等の水利確保が困難な所でも少ない水量で消火できます。



水槽付消防ポンプ自動車

年式 平成13年

2000ℓの水を積載し、水利の確保が困難な場所や、高速道路等などの場合でも消火活動を行うことができます。



消防ポンプ自動車

年式 平成24年

水槽付消防ポンプ自動車が進入困難な道路狭隘地域に容易に進入することが可能で、早期に火災現場直近の水利を確保し、放水体制を整えることが可能です。



救助工作車

年式 平成10年

あらゆる災害において人命救助活動に対応可能な車両で、電動ウィンチ、照明、クレーンなどを装備しています。また、各種救助用資器材を積載しています。



高規格救急車

年式 平成27年

従来の救急車の装備に加え、高度救急資器材を積載し、救命処置が行えるようになっています。また、防振ベッドを搭載し、悪路でも振動を軽減します。



消 防 本 部 （ 署 ） 車 両 紹 介

指揮車

年式 平成24年

災害現場において隊員の安全管理や指揮を行います。車内には指揮盤、パソコンやプリンターなどが積載されており、情報収集や関係機関との連絡等を行います。



防災広報自動車

年式 平成17年

災害時に出動し、地域住民の人たちに必要な情報などを知らせるための自動車です。災害出動時以外は、火災予防の広報などに使用します。



指令広報車

年式 平成13年

火災時に火災調査に出動します。災害出場以外では、立入検査、火災予防の広報などに使用します。



指令広報車

年式 平成22年

災害時に各種機関との連携や調整を行い指令を出すための自動車です。災害出場以外では、立入検査、火災予防の広報などに使用します。



地区別各種出動件数表

地区別 種別		合計	亀山	井田川	神辺	昼生	川崎	野登	白川	関	坂下	加太	その他 (※1)
火災	合計	36	7	3	0	2	8	3	2	4	3	2	2
	建物	10	3	1		1	1		1	1	1	1	
	林野	3	1			1	1						
	車両	13	3	1			1	1		2	2	1	2
	その他 (※2)	10		1			5	2	1	1			
救急	合計	2,042	780	364	141	53	203	89	51	234	44	55	28
	火災	8		1		1	2			2	1		1
	自然災害	0											
	水難	0											
	交通	274	67	37	33	9	33	16	7	30	3	15	24
	労働災害	36	7	7	5		6	2	4	3	1	1	
	運動競技	15	8	2	1		2			1		1	
	一般負傷	316	111	58	13	8	32	17	11	51	5	10	
	加害	10	4	3				2	1				
	自損行為	23	10	8	1	1	2			1			
	急病	1,264	488	244	87	34	124	51	28	143	34	28	3
	その他 (※3)	96	85	4	1		2	1		3			
救助	合計	34	8	1	2	1	3	7	1	4	0	4	3
	交通	21	4	1	1	1		3		4		4	3
	建物	3	1				2						
	その他 (※4)	10	3		1		1	4	1				
その他	合計	152	38	20	10	3	15	9	1	29	3	7	17
	警戒	15	4	1		2	1			5		1	1
	誤報	14	6	2	1		2	1		1			1
	水防	1	1										
	その他 (※5)	122	27	17	9	1	12	8	1	23	3	6	15

(※1) 高速道路などの市外、県外の管轄区域

(※2) 枯草火災など

(※3) 転院搬送など

(※4) 機械による事故など

(※5) 救急隊の活動支援など

平成26年度中における主な行事等

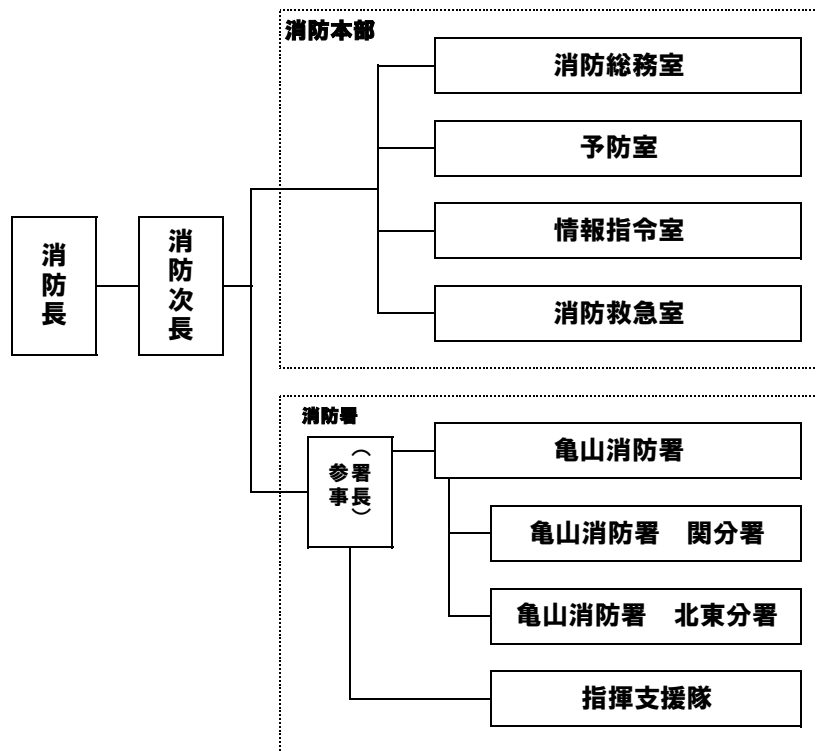
年	月	日	内 容
平成26年	4	2	消防長、職員辞令交付式（消防庁舎）
		4	亀山市消防団辞令交付式（消防庁舎）
		11	三重県消防長会議（桑名市）
		25	全国消防長会東海支部総会（大紀町）
		30	亀山市防火協会理事会（消防庁舎）
	5	7	救急ワークステーション本格運用開始（以降毎週水曜日実施）
		9	危険物取扱者予備講習会（消防庁舎）
		14	危険物安全協会理事会総会（津市）
		26	三重県消防協会北勢支会評議委員会（鈴鹿市）
		27	亀山市防火協会総会（消防庁舎）
		29	三重県内警防担当課長会議（消防学校）
		30	亀山市幼少年・女性防火委員会（消防庁舎）
	6	1	亀山市水防訓練（亀山市）
		8～14	危険物安全週間
		12	危険物安全講習会（亀山市）
		14	少年消防クラブ入会式（消防庁舎）
		26	三重県消防協会代議員会・消防関係者交流会（津市）
		29	第10回亀山市消防操法大会（亀山市立神辺小学校）
	7	3・10	亀山市消防本部職場内研修
		4	鈴鹿地区消防連絡協議会定例会（消防庁舎）
		13	三重県消防操法大会（三重県消防学校）
		16	三重県消防長会予防関係会議（津市）
		27	亀山市関宿伝統的建造物群保存地区消防訓練（亀山市）
		30・31	甲種防火管理者資格取得講習会（消防庁舎）
		30	消防救助技術東海地区指導会（三重県消防学校）
	8	7	鈴鹿地区不正軽油対策情報連絡会議（鈴鹿市）
		17	消防フェスタ（消防庁舎）
		26・27	消防本部情報指令室119番受信対応訓練（消防庁舎）
	9	9	救急医療週間記念行事（亀山市）
		20	消防職員初任科総合査閲（三重県消防学校）
	10	2	第11回三重県警防技術交流会（三重県消防学校）
		8～9	三重県消防協会北勢支会視察研修（香川県）
		10	危険物取扱者試験予備講習会（消防庁舎）
		16	社会福祉施設「愛の里」消防訓練（亀山市）
		18	亀山市消防団視察研修（東大阪市他）
		29	消防殉職者慰霊祭・三重県消防協会代議員会（三重県消防学校）
	11	7～8	三重県消防協会北勢支会視察研修（東京）
		9～15	秋の火災予防運動
		8	防火フェア（亀山市文化会館）
		12	三重県消防長会研修会（四日市市）
		15～16	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練（石川県）
		23	三重県消防協会青年・女性消防団員研修会
	12	3・4	隣接応援訓練（亀山市・鈴鹿市）
		11	防災航空隊隊員投入訓練（津市）
		22	三重県内予防担当課長会議（津市）
平成27年	1	4	亀山市消防出初式（亀山市立西小学校）
		8.9	エボラ出血熱対応訓練（消防庁舎）
		11	亀山市市制施行10周年記念式典（亀山市）
		13～16	第41回消防団幹部特別研修（東京）
		23	三重県消防長会議

平成 2 6 年 度 中 に お け る 主 な 行 事 等

年	月	日	内 容
平成 2 7 年	1	24	亀山市関宿伝統的建造物群保存地区消防訓練（亀山市）
		25	三重県消防協会北勢支会消防団研修（四日市市）
		27.28	多数傷病者対応訓練（消防庁舎）
		30	消防法令違反是正事例研究会
		10	鈴亀地区消防協議会視察研修（紀宝町）
		10	三重県内警防担当課長会議（三重県消防学校）
		24	亀山市消防本部救急技術研鑽会（消防庁舎）
		25	亀山市消防職員意見発表会（消防庁舎）
		27	滋賀県救助シンポジウム（滋賀県近江八幡市）
	3	1～7	春の火災予防運動
		4	三重県消防協会北勢支会第二回評議委員会（鈴鹿市）
		4	三重県危険物安全協会理事会（津市）
		5	津市消防本部合同山岳訓練（亀山市・津市）
		10	亀山消防署北東分署完成検査（亀山市）
		10	隣接応援訓練（亀山市・津市）
		17	新名神高速道路災害図上訓練（滋賀県甲賀広域行政消防組合消防本部）
		21	亀山市植樹祭（北東分署）
		21	三重県消防大会（津市）
		22	少年消防クラブ修了式（消防庁舎）

総務

亀 山 市 消 防 本 部 組 織 図



各 組 織 分 掌 事 務

《 消 防 本 部 》

消 防 総 務 室

- (1) 組織、消防行政の企画及び総合調整に関すること。
- (2) 消防施設等の整備計画に関すること。
- (3) 諸行事の企画及び運用に関すること。
- (4) 財産の管理及び処分に関すること。
- (5) 消防団に関すること。
- (6) 消防職員及び消防団員の研修教養に関すること。
- (7) 消防職員及び消防団員の被服等の賞与に関すること。
- (8) 消防職員及び消防団員の福利厚生に関すること。
- (9) 消防職員の進退、配置、賞罰その他身分に関すること。
- (10) 予算及び経理に関すること。
- (11) 例規及び文書に関すること。
- (12) 式典及び表彰に関すること。
- (13) 公印の保管に関すること。
- (14) 公務証票に関すること。
- (15) 消防団員の身分及び諸給与に関すること。
- (16) 消防団員の災害補償、賞じゅう金等に関すること。
- (17) 他の室に属さない事項

予 防 室

- (1) 火災予防に関すること。
- (2) 建築確認等の同意に関すること。
- (3) 消防用設備等の指導及び検査に関すること。
- (4) 防火管理に関すること。
- (5) 火災原因及び損害の調査に関すること。
- (6) 火災証明に関すること。
- (7) 火を使用する施設等の届出の処理に関すること。
- (8) 火災及び予防の統計に関すること。
- (9) 危険物の規制に関すること。
- (10) 危険物製造所等の許可、認可及び検査に関すること。
- (11) 危険物取扱者、危険物保安監督者等に関すること。
- (12) 少量危険物及び指定可燃物の届出の処理に関すること。
- (13) 高圧ガス、火薬等の保安に関すること。
- (14) 液化石油ガス器具、ガス用品等の安全に関すること。
- (15) 危険物製造所等の事故調査及び報告に関すること。
- (16) 危険物等協力諸団体にに関すること。
- (17) 防火協力団体にに関すること。

情 報 指 令 室

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| (1) 災害情報の収集に関すること。 | (5) 気象情報に関すること。 |
| (2) 出動指令に関すること。 | (6) 火災警報に関すること。 |
| (3) 防災関係機関等との連絡調整に関すること。 | (7) 通信機器等の維持管理に関すること。 |
| (4) 消防通信の運用及び統制に関すること。 | |

消 防 救 急 室

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|
| (1) 消防業務及び救急業務に関する企画及び調整に関すること。 | (6) 救急業務に関する消防職員の訓練及び技術の指導に関すること。 |
| (2) 災害の応援、受援及び協力に関すること。 | (7) 救急に関する広報に関すること。 |
| (3) 特殊工作物の非常用施設に関すること。 | (8) 救急統計及び救助統計に関すること。 |
| (4) 救急業務の高度化推進に関すること。 | (9) 室の予算の調製及び執行に関すること。 |
| (5) 医療機関等との連携調整に関すること。 | |

《 消 防 署 》

亀 山 消 防 署

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| (1) 水火災その他災害の警戒及び防御に関すること。 | (11) 救急活動に関すること。 |
| (2) 救助活動に関すること。 | (12) 救急指導及び応急手当の普及に関すること。 |
| (3) 水火災等の活動記録に関すること。 | (13) 救急業務の活動記録に関すること。 |
| (4) 自治会等の訓練指導に関すること。 | (14) 救急用資機材等の点検及び整備に関すること。 |
| (5) 消防水利施設等の点検及び地理調査に関すること。 | (15) 救急搬送証明に関すること。 |
| (6) 車両、機械器具等の点検及び整備に関すること。 | (16) 署の庶務に関すること。 |
| (7) 警防に関する各種届出に関すること。 | (17) 消防職員及び消防団員の訓練に関すること。 |
| (8) 防火診断、枯草等の調査及び防火指導に関すること。 | (18) 特殊な建築物及び工作物の警防計画に関すること。 |
| (9) 軽易な火災の原因及び損害の調査に関すること。 | (19) 警防査察等に関すること。 |
| (10) 刊行物等の発行に関すること。 | |

亀山消防署関分署及び亀山消防署北東分署

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| (1) 水火災その他災害の警戒及び防御に関すること。 | (10) 刊行物等の発行に関すること。 |
| (2) 救助活動に関すること。 | (11) 救急活動に関すること。 |
| (3) 水火災等の活動記録に関すること。 | (12) 救急指導及び応急手当の普及に関すること。 |
| (4) 自治会等の訓練指導に関すること。 | (13) 救急業務の活動記録に関すること。 |
| (5) 消防水利施設等の点検及び地理調査に関すること。 | (14) 救急用資機材等の点検及び整備に関すること。 |
| (6) 車両、機械器具等の点検及び整備に関すること。 | (15) 救急搬送証明に関すること。 |
| (7) 警防に関する各種届出に関すること。 | (16) 分署の庶務に関すること。 |
| (8) 防火診断、枯草等の調査及び防火指導に関すること。 | (17) 消防職員の訓練に関すること。 |
| (9) 軽易な火災の原因及び損害の調査に関すること。 | |

指 揮 支 援 隊

- | | |
|--------------------------------|----------------------------|
| (1) 災害現場における現場指揮に関すること。 | (6) 災害出動後の活動の検証に関すること。 |
| (2) 災害現場における各種情報の収集及び伝達に関すること。 | (7) 消防職員及び消防団員の安全管理に関すること。 |
| (3) 災害現場の広報に関すること。 | (8) 消防職員及び消防団員の訓練に関すること。 |
| (4) 災害現場の支援に関すること。 | (9) 消防技術等の向上に関すること。 |
| (5) 軽易な火災の原因及び損害の調査に関すること。 | |

歴 代 消 防 長 一 覧 表

氏 名	生年月日	就任年月日	在職年数
		退任年月日	
三 宅 長 治	大正12年1月22日	昭和53年4月2日	6年
		昭和59年3月31日	
下 條 繁	昭和3年4月1日	昭和59年4月3日	7年
		平成3年3月31日	
田 名 瀬 治 好	昭和8年1月10日	平成3年4月3日	4年
		平成7年3月31日	
羽 多 野 勇 喜 男	昭和10年5月9日	平成7年4月3日	4年
		平成11年3月31日	
三 宅 昭 之	昭和15年3月27日	平成11年4月5日	3年
		平成14年3月31日	
米 田 功	昭和18年12月22日	平成14年4月4日	4年
		平成18年3月31日	
竹 内 清	昭和22年1月2日	平成18年4月2日	4年
		平成22年3月31日	
渥 美 正 行	昭和26年2月2日	平成22年4月2日	4年
		平成26年3月31日	
中 根 英 二	昭和30年3月11日	平成26年4月2日	1年
		現在に至る	

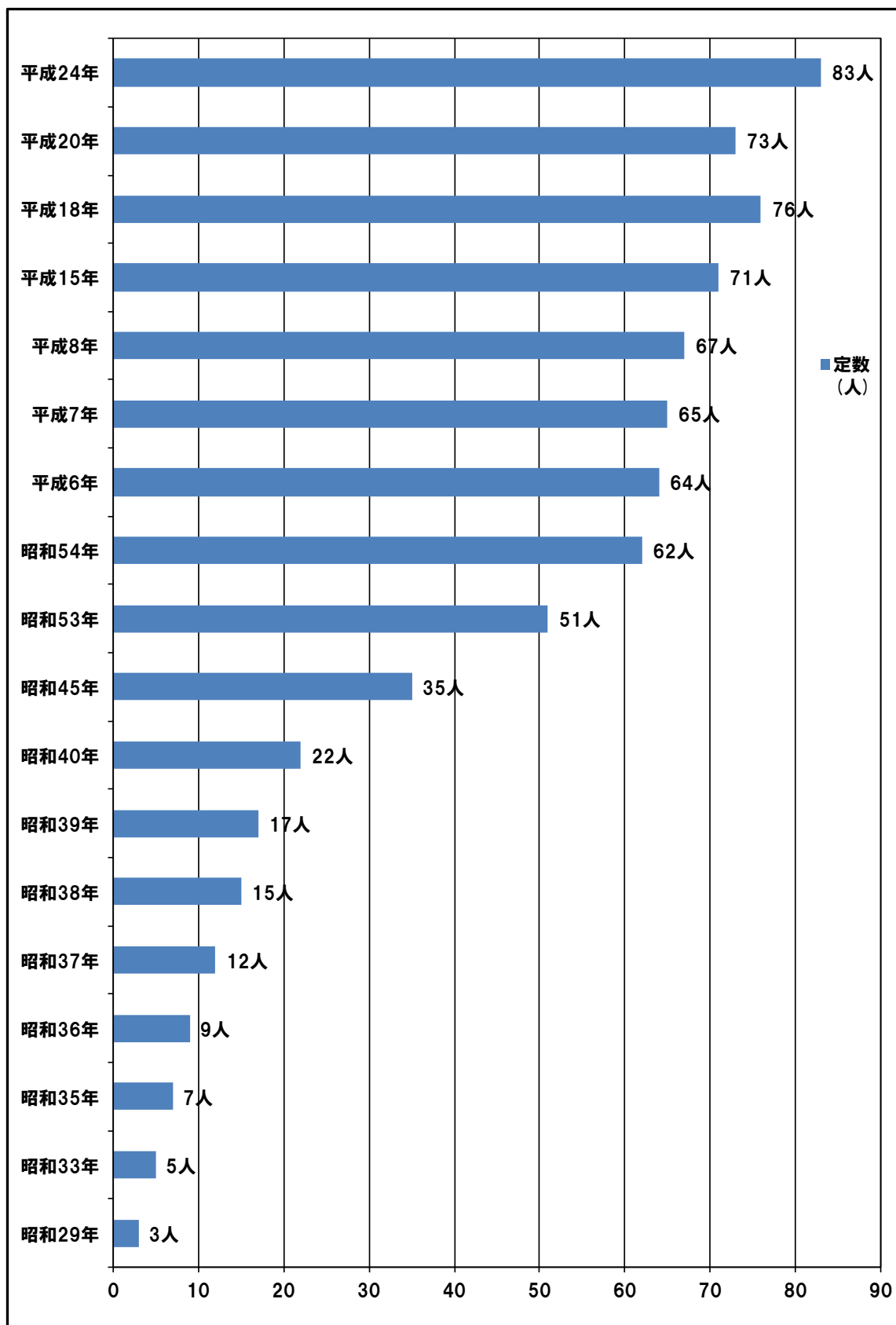
※昭和52年度以前は市長兼務

職 員 配 置 表

(H27.4.1現在)

階級別 所属別		合 計	消 防 吏 員						
			消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
職 員 数		83	1	11	12	23	17	0	19
消 防 本 部	消 防 長		1	1					
	消 防 次 長		1		1				
	消 防 総 務 室	室 長	1		1				
		室 員	5			2	2	1	
		消防総務室付	5						5
		消防総務室付 企画政策室出向	1				1		
		消防総務室付 危機管理局出向	1		1				
		消防総務室付 三重県消防学校教官派遣	1			1			
		消防救急室	1		1				
		室 員	1				1		
	予 防 室	室 長	1		1				
		副室長	1			1			
		室 員	3				1	2	
	情 報 指 令 室	室 長	1		1				
		副室長	1			1			
		室 員	5			2	2	1	
消 防 署	亀 山 消 防 署	参事（兼）亀山消防署長	1		1				
		副参事（兼）亀山消防署副署長	1		1				
		署 員	21			1	9	6	5
	関 分 署	分署長	1		1				
		副分署長	1			1			
		署 員	13			1	4	3	5
	北 東 分 署	分署長	1		1				
		副分署長	1			1			
		署 員	11			1	4	2	4
	指 揮 支 援 隊	隊 長	1		1				
		副隊長	1			1			

条 例 定 数 推 移 表



消 防 職 員 数 の 累 年 比 較 表

(H27.4.1現在)

階級別 年別	合 計	消 防 吏 員								事 務 吏 員
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
平成4年	62		1	2	3	12	18	19	6	1
平成5年	62		1	3	7	12	25	8	5	1
平成6年	64		1	3	7	12	25	8	7	1
平成7年	65		1	5	9	12	23	7	7	1
平成8年	67		1	5	9	12	23	7	9	1
平成9年	67	1		5	8	12	26	2	12	1
平成10年	68	1		5	8	12	27	1	13	1
平成11年	68	1	1	4	8	12	28	1	12	1
平成12年	68	1	1	4	8	12	28		13	1
平成13年	67	1	1	4	8	12	29		12	
平成14年	68	1	1	4	8	19	23		11	1
平成15年	70	1	1	4	8	21	22		13	
平成16年	71	1	1	7	8	21	22		11	
平成17年	73	1	1	7	9	25	18		12	
平成18年	74	1	2	6	7	25	18		15	
平成19年	76	1	1	6	8	24	17		19	
平成20年	73	1	1	6	7	23	16		19	
平成21年	73	1	1	6	10	20	17		18	
平成22年	74		1	8	11	22	15		17	
平成23年	74		1	8	9	26	16		14	
平成24年	77		1	10	10	28	14		14	
平成25年	80		1	10	10	29	14		16	
平成26年	82		1	10	12	27	16		16	
平成27年	83		1	11	12	23	17		19	

消 防 職 員 年 令 表

(H27.4.1現在)

階級別 年令別	合 計							
		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	83	1	11	12	23	17	0	19
平 均	43.8	60.0	55.8	52.3	40.1	31.1		23.5
18歳	2							2
19歳	1							1
20歳	2							2
21歳	0							
22歳	2							2
23歳	2							2
24歳	3							3
25歳	1							1
26歳	2							2
27歳	2					1		1
28歳	3					1		2
29歳	3					2		1
30歳	3					3		
31歳	4				1	3		
32歳	2					2		
33歳	4				2	2		
34歳	4				1	3		
35歳	0							
36歳	2				2			
37歳	3				3			
38歳	1				1			
39歳	4				4			
40歳	3			1	2			
41歳	1				1			
42歳	2				2			
43歳	1			1				
44歳	0							
45歳	0							
46歳	1				1			
47歳	1			1				
48歳	1		1					
49歳	1			1				
50歳	0							
51歳	0							
52歳	0							
53歳	0							
54歳	8		3	3	2			
55歳	1				1			
56歳	3		1	2				
57歳	2		2					
58歳	4		2	2				
59歳	3		2	1				
60歳	1	1						

職 員 各 種 免 許 等 取 得 状 況

(H27.4.1現在)

資格別		階級別	計	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
計			579	2	75	87	199	134	0	82
大型特殊自動車免許			3		1		1	1		
けん引自動車免許			3		1		1	1		
大型自動車免許			58		10	12	23	12		1
中型自動車免許			24		2	2	7	10		3
普通自動車免許			83	1	11	12	23	17		19
自動二輪車免許			29	1	3	8	9	6		2
危険物取扱者 乙4			54		5	4	16	16		13
高圧ガス製造保安責任者			0							
無線	特殊無線技士1級陸上		0							
	特殊無線技士2級陸上		76		11	11	23	17		14
	アマチュア無線技士		8		4	2	2			
小型移動式クレーン資格			68		6	9	22	17		14
玉掛け			71		8	10	22	17		14
消防設備士	甲種		0							
	乙種		1				1			
衛生管理者	1種		1				1			
	2種		6		3	2	1			
ボイラー技士	1級		0							
	2級		0							
一般毒物劇物取扱者			0							
火薬類取扱保安責任者			1				1			
ガス溶接技能者			40		1	6	18	14		1
フォークリフト			3				1	1		1
電気工事士			2			1		1		
車両系建設機械			3				2	1		
特定化学物質作業主任者			15		3	2	10			
救急救命士			21		5	1	12	3		
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者			9		1	5	3			

平成26年度主な事業（施設・備品整備）一覧表

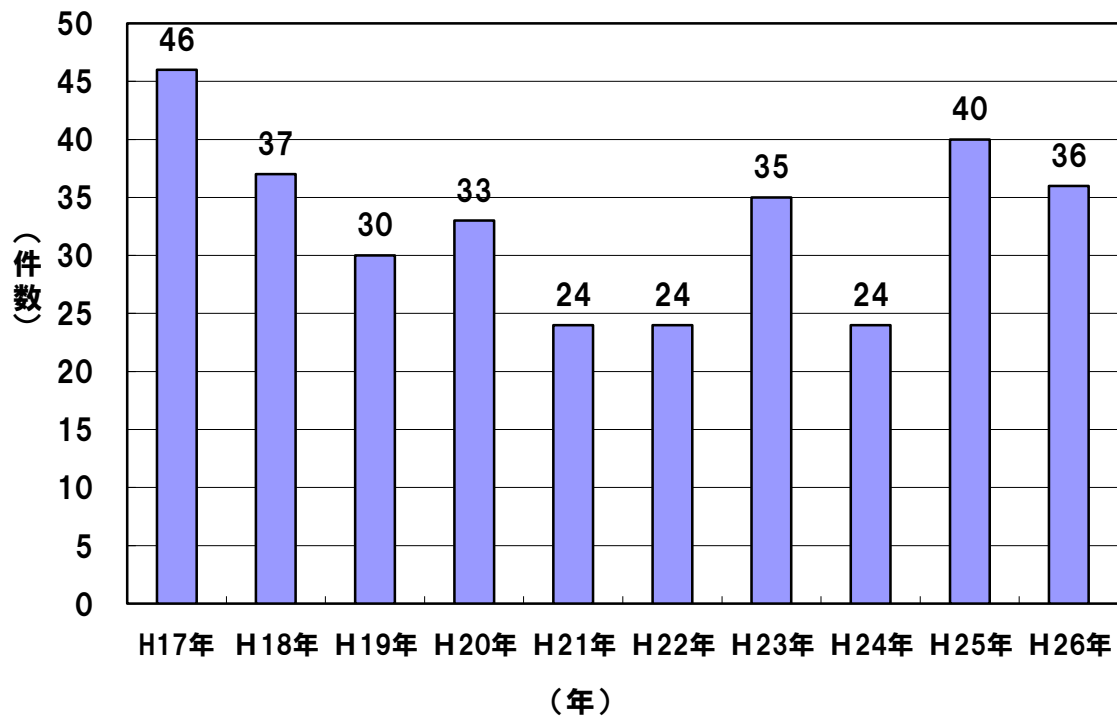
主 な 事 業 名	内 容
防災基盤整備事業 ○防火水槽新設工事 ○車両等更新	・ 40m ³ 級耐震性防火水槽5基 （アイリス町 和田町 田村町 長明寺町 辺法寺町） ・ 高規格救急自動車及び積載資機材 更新
合併特例事業 ○北東分署建設事業	・ 用地購入 ・ 建築工事 ・ 庁内備品購入 ・ 高規格救急自動車及び積載資機材購入
緊急防災事業 ○消防救急無線デジタル化整備事業 ○車両等更新	・ 消防指令施設デジタル化対応整備工事 ・ 消防団女性分団 小型動力ポンプ付軽積載車 新規購入 ・ 消防団第3分団下庄車庫 小型動力ポンプ付軽積載車 更新 ・ 消防団第8分団天神車庫 小型動力ポンプ付積載車 更新
市単独事業 ○消防庁舎修繕	・ 亀山消防庁舎空調機各種修繕 ・ 亀山消防庁舎外周タイル修繕
○消火栓設置等工事	・ 新設 2基 ・ 改修 13基 ・ 移設 0基 ・ 修繕 4基
○自治会消防用設備設置費補助事業	・ 消火器具収納ボックス等 15自治会 16設備等

警

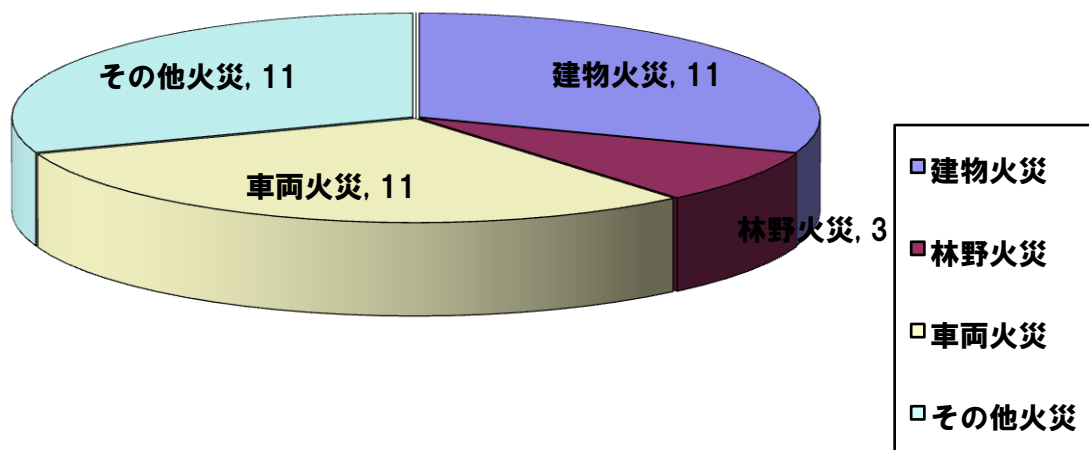
防

火 災 発 生 状 況

過去10年間の火災件数



平成26年火災種別



10年間の火災件数・損害額等比較表

区 分 年 別	火 災 件 数					焼 損 面 積		死 傷 者		損害額(千円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	建物 (㎡)	林野 (a)	死 者	負 傷 者	
平成17年	46	17	2	13	14	626	1	0	3	49,912
平成18年	37	12	3	10	12	856	6	1	2	41,797
平成19年	30	14	2	6	8	267	20	0	4	12,106
平成20年	33	19	1	7	6	619	2	0	4	34,403
平成21年	24	4	2	9	9	6	2	0	0	4,313
平成22年	24	7	1	7	9	260	1	0	2	37,948
平成23年	35	9	1	6	19	742	4	1	3	16,672
平成24年	24	9	0	8	7	750	0	3	1	56,888
平成25年	40	7	2	9	22	1,309	3	1	4	20,106
平成26年	36	11	3	11	11	762	20	3	2	60,596

出 火 原 因 別 火 災 件 数

原 因 別	月 別	合 計	月 別											
			1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
合 計		36	2	9	5	0	4	2	1	1	2	4	1	5
た ば こ		2		1										1
こ ん ろ		1												1
か ま ど		1					1							
風 呂 か ま ど		0												
炉		0												
焼 却 炉		1					1							
ス ト ー ブ		0												
こ た つ		0												
ボ イ ラ ー		0												
煙 突 ・ 煙 道		0												
排 気 管		3						1		1		1		
電 気 機 器		0												
電 気 装 置		0												
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線		2		1			1							
内 燃 機 関		3										2		1
配 線 器 具		0												
火 あ そ び		1												1
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー		0												
た き 火		5	1	4										
溶 接 機 ・ 切 断 機		0												
灯 火		0												
衝 突 の 火 花		0												
取 灰		0												
火 入 れ		1		1										
放 火		3			2									1
放 火 の 疑 い		5	1		1		1				1		1	
そ の 他		5		1	1				1		1	1		
不 明		3		1	1			1						

月 別 火 災 状 況

区分 月別	出 火 件 数					焼 損 面 積		死 傷 者		り 災 世 帯	損 害 額 (千 円)				
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	建 物 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者		合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他
合計	36	11	3	11	11	762	20	3	2	9	60,596	52,219	30	7,007	1,340
1 月	2	1	1			0	14				6	0	6		
2 月	9	2	2	1	4	112	6				12,927	12,794	24	108	1
3 月	5	3		1	1	258		1	1	3	7,904	6,431		1,473	0
4 月	0										0				
5 月	4	2			2	316		1	1	4	20,497	20,497			0
6 月	2	1		1		5					3,361	3,360		1	
7 月	1				1						1,174				1,174
8 月	1			1							149			149	
9 月	2	1		1		0				1	4,578	78		4,500	
10 月	4			4							578			578	
11 月	1				1						2				2
12 月	5	1		2	2	71		1		1	9,420	9,059		198	163

出 火 時 間 帯 別 火 災 状 況

区 分 時間帯別	火 災 件 数					焼 損 面 積		死 傷 者		損害額 (千円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	建物 (㎡)	林野 (a)	死 者	負 傷 者	
合 計	36	11	3	11	11	762	20	3	2	60,596
0～ 1	1				1					0
1～ 2	1			1						4,500
2～ 3	1	1				0				805
3～ 4	1			1						108
4～ 5	1			1						103
5～ 6	1				1					1,174
6～ 7	0									
7～ 8	0									
8～ 9	1				1			1		0
9～10	1			1						149
10～11	0									
11～12	4	1	1		2	112	3			12,895
12～13	3	1		1	1	70			1	2,395
13～14	6	3	2	1		274	17		1	23,691
14～15	0									
15～16	2			1	1					49
16～17	3	1			2	71				9,061
17～18	3			2	1					246
18～19	1			1						307
19～20	0									
20～21	1				1					3
21～22	1	1				47				275
22～23	1	1				0				59
23～24	1	1				188		1		4,704
不明	2	1		1		0		1		72

亀 山 市 消 防 水 利 一 覧 表

H 2 7 . 4 . 1 現在

地区別 区 分			合 計	亀 山	井 田 川	神 辺	昼 生	川 崎	野 登	白 川	関	加 太	坂 下
合 計			2,083	603	296	133	82	244	133	101	359	102	30
消 火 栓	配 管 径	小 計	1,659	506	252	110	58	184	103	81	279	66	20
		5 0 mm	12	2		1	5	1	1		1		1
		7 5 mm	668	197	98	34	18	65	49	18	129	48	12
		1 0 0 mm	386	96	53	27	13	48	30	33	67	15	4
		1 2 5 mm	9	2	1				1		5		
		1 5 0 mm	346	127	61	10	20	40	22	25	35	3	3
		2 0 0 mm	86	34	8		2	8		5	29		
		2 5 0 mm	42	19	5	13					5		
		3 0 0 mm	50	9	11	25		5					
		3 5 0 mm	29	11	10						8		
		4 0 0 mm	21	4	5			12					
		4 5 0 mm	10	5				5					
防 火 水 槽	公 設	小 計	424	97	44	23	24	60	30	20	80	36	10
		2 0 m ³ 未満	33	4	5	2		2	3	2	7	8	
		2 0 m ³ 以上～ 4 0 m ³ 未満	104	15	4	7	6	17	8	6	23	14	4
		4 0 m ³ 以上～ 6 0 m ³ 未満	273	69	34	14	18	41	19	12	47	14	5
		6 0 m ³ 以上～ 1 0 0 m ³ 未満	7	5							1		1
		1 0 0 m ³ 以上	7	4	1						2		

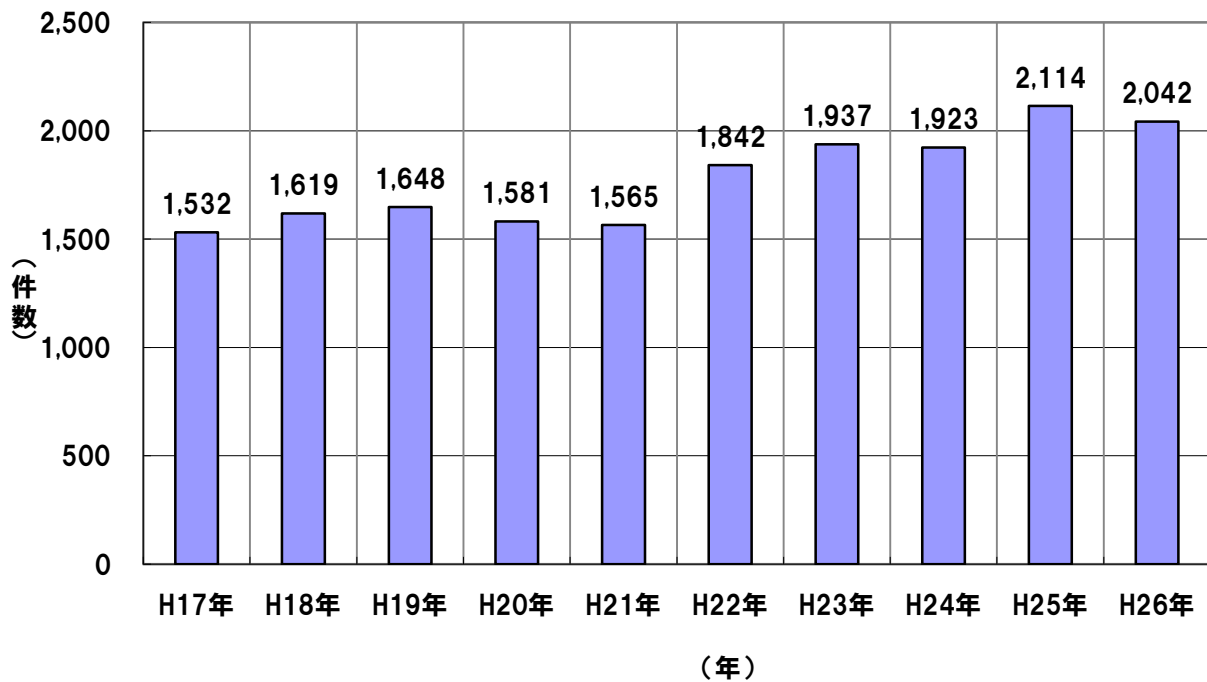
月 別 消 防 訓 練 指 導 回 数 表

実施主体別 月 別	合 計	自 治 会	事 業 所	学 保 育 校 園	そ の 他
合 計	130	18	64	42	6
4 月	2		2		
5 月	7		6		1
6 月	16		5	10	1
7 月	5	3	1	1	
8 月	5	1	2	1	1
9 月	10	3	7		
1 0 月	29	4	6	18	1
1 1 月	23	4	14	5	
1 2 月	10		7	3	
1 月	5	1	2	1	1
2 月	7		5	2	
3 月	11	2	7	1	1

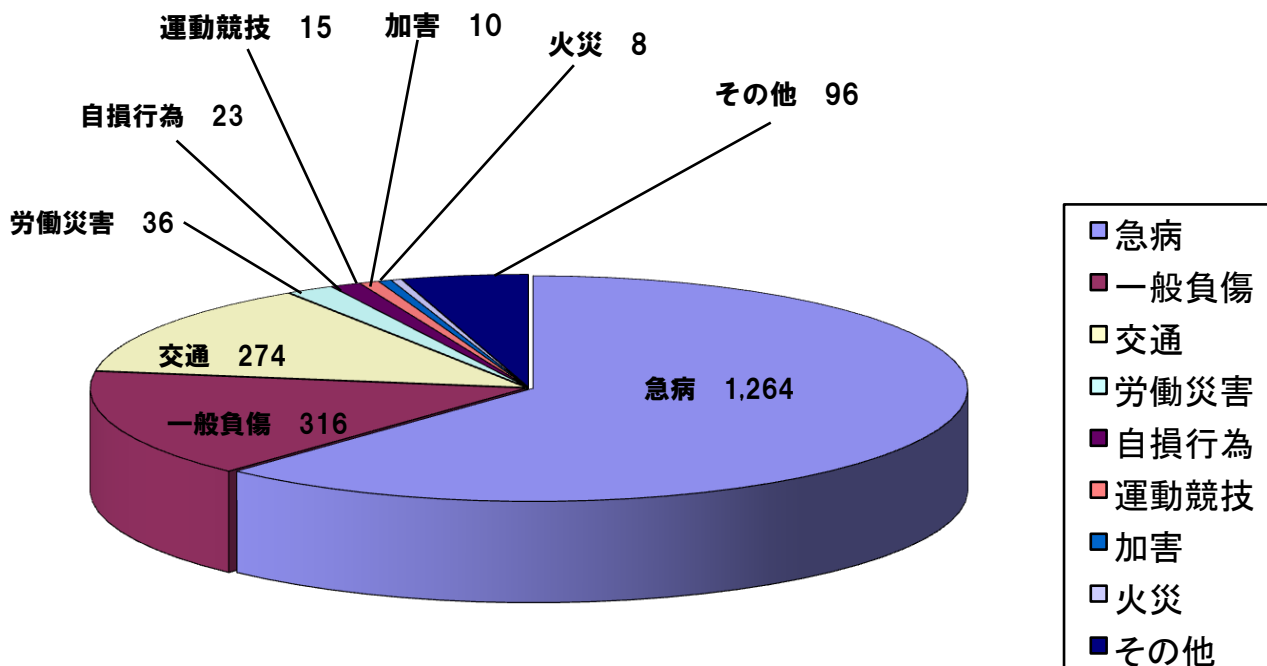
救 急

救 急 出 動 状 況

過去10年間の救急出動件数



平成25年救急種別



年 別 救 急 出 動 状 況

年別 事故別		平成 17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
合 計	出動件数	1,532	1,619	1,648	1,581	1,565	1,842	1,937	1,923	2,114	2,042
	搬送人員	1,553	1,653	1,655	1,540	1,551	1,809	1,897	1,863	2,065	1,931
交通事故	出動件数	272	289	290	263	226	291	275	266	289	274
	搬送人員	345	365	356	304	278	334	322	304	337	293
急 病	出動件数	917	957	1,007	958	969	1,130	1,155	1,167	1,275	1,264
	搬送人員	871	927	954	893	921	1,071	1,089	1,092	1,211	1,183
一般負傷	出動件数	195	204	208	209	217	244	312	298	358	316
	搬送人員	193	200	203	201	213	232	300	286	340	296
労働災害	出動件数	25	31	41	24	32	23	26	29	26	36
	搬送人員	27	31	41	25	33	23	26	29	25	34
自損行為	出動件数	10	16	4	24	23	20	18	20	22	23
	搬送人員	8	11	4	17	13	15	11	12	15	13
加 害	出動件数	10	9	7	11	3	4	10	10	9	10
	搬送人員	11	10	6	11	2	4	9	8	8	8
運動競技	出動件数	7	7	2	4	8	10	12	11	12	15
	搬送人員	7	7	2	4	7	10	12	12	14	15
水 難	出動件数				1	2					
	搬送人員					1					
火 災	出動件数			1	2		1	1	3	8	8
	搬送人員			1	2		1		3	4	1
自然災害	出動件数			2					1		
	搬送人員			3							
そ の 他	出動件数	96	106	86	85	85	119	128	118	115	96
	搬送人員	91	102	85	83	83	119	128	117	111	88

月 別 救 急 出 動 件 数 表

月別	事故別 区分	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				
													小 計	転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 輸 送	そ の 他
合 計	出 動 件 数	2,042	8			274	36	15	316	10	23	1,264	96	89	1		6
	搬 送 件 数	1,877	1			243	34	15	294	7	13	1,182	88	88			
	不搬送件数	165	7			31	2		22	3	10	82	8	1	1		6
	搬 送 人 員	1,931	1			293	34	15	296	8	13	1,183	88	88			
1 月	出 動 件 数	186				16	2	1	33		1	127	6	6			
	搬 送 人 員	172				17	2	1	29		1	116	6	6			
2 月	出 動 件 数	197	3			25	2	1	24		3	131	8	6			2
	搬 送 人 員	179				26	2	1	23		2	119	6	6			
3 月	出 動 件 数	169	2			23	1	1	26	1	3	99	13	12			1
	搬 送 人 員	156	1			25	1	1	25	1		90	12	12			
4 月	出 動 件 数	162				21	2	4	25	1	1	99	9	9			
	搬 送 人 員	156				21	2	4	24	1	1	94	9	9			
5 月	出 動 件 数	156	1			15	4	1	23	1	2	100	9	9			
	搬 送 人 員	147				17	4	1	20	2		94	9	9			
6 月	出 動 件 数	164	1			24	5	3	24	1	1	93	12	12			
	搬 送 人 員	157				26	5	3	21		1	89	12	12			
7 月	出 動 件 数	160				23	3		28		2	93	11	11			
	搬 送 人 員	161				29	2		28		2	89	11	11			
8 月	出 動 件 数	167				30	5	1	27	1	2	94	7	7			
	搬 送 人 員	163				38	5	1	25		2	86	6	6			
9 月	出 動 件 数	175	1			27	1	2	27	1	1	109	6	6			
	搬 送 人 員	166				24	1	2	26	1		106	6	6			
10 月	出 動 件 数	155				27	9	1	27		1	84	6	4	1		1
	搬 送 人 員	138				20	8	1	24		1	80	4	4			
11 月	出 動 件 数	160				19	1		29	2	2	102	5	3			2
	搬 送 人 員	147				18	1		28	1		96	3	3			
12 月	出 動 件 数	198				31	1		23	2	4	133	4	4			
	搬 送 人 員	189				32	1		23	2	3	124	4	4			

時 間 帯 別 救 急 出 動 件 数 表

事故別 時刻別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 為	急 病	そ の 他
合 計	2,042	8	0	0	274	36	15	316	10	23	1,264	96
0～2 未 満	87				10			6	2	2	65	2
2～4 "	70				4	1	1	5			58	1
4～6 "	91	1			17			10			63	
6～8 "	164	1			25	2		18	1	3	113	1
8～10 "	273				31	4	1	46		5	167	19
10～12 "	243				31	11	5	36		3	134	23
12～14 "	212	4			26	3	4	33			129	13
14～16 "	186				20	1	1	41	1	5	106	11
16～18 "	190				47	5	1	33		2	91	11
18～20 "	206				27	2	2	29	1	2	134	9
20～22 "	164	1			17	2		39	2		98	5
22～24 "	156	1			19	5		20	3	1	106	1

応 急 処 置 別 件 数 表

事故別 応急処置別	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
合 計	7,844 (172)	4,926 (104)	1,200 (16)	1,129 (35)	589 (17)
止 血	46	11	14	15	6
固 定	396 (4)	29	241 (1)	102 (2)	24 (1)
人工呼吸	13	11	1		1
心臓マッサージ	1			1	
心肺蘇生	51	45	2	2	2
酸素吸入	450 (1)	336	42	30 (1)	42
気道確保	91 (1)	81	2	5 (1)	3
保 温	131 (1)	97	15	12	7 (1)
被 覆	186 (8)	10	71 (3)	86 (4)	19 (1)
在宅療法継続	35 (1)	27		4 (1)	4
ショックパンツ	0				
除細動	5	4		1	
静脈路確保	30	27	1	1	1
薬剤投与	9	8		1	
血圧測定	1,842 (44)	1,115 (27)	288 (5)	283 (9)	156 (3)
心音・呼吸音聴取	439 (11)	303 (7)	83 (1)	36 (2)	17 (1)
血中酸素測定	1,873 (48)	1,135 (28)	290 (5)	291 (12)	157 (3)
心電図	777 (32)	634 (27)	41	60	42 (5)
その他	1,469 (21)	1,053 (15)	109 (1)	199 (3)	108 (2)
応 急 処 置 対 象 人 員	1,928 (80)	1,180 (51)	293 (7)	296 (13)	159 (9)

()内は不搬送の場合の現場応急処置件数

年 令 別 搬 送 人 員 表

事故別 年令別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	1,931	1	0	0	293	34	15	296	8	13	1,183	88
新 生 児 (生後28日以下)	2										2	
乳 幼 児 (生後29日～6才)	101				5			35			60	1
少 年 (7才～17才)	87				30		9	23	1	1	22	1
成 人 (18才～64才)	706	1			210	31	5	58	4	10	359	28
高 齢 者 (65才以上)	1,035				48	3	1	180	3	2	740	58

月 別 救 命 講 習 参 加 人 員 表

講習区分別 月別	合 計	一 般	普 通 救 命	上 級	普 及 員
合 計	2,270	986	1,254	0	30
平成26年4月	96	13	83		
5月	100	100			
6月	402	186	216		
7月	607	181	426		
8月	74	47	27		
9月	377	103	274		
10月	71	48	23		
11月	231	136	65		30
12月	106	76	30		
平成27年1月	40	40			
2月	36	30	6		
3月	130	26	104		

通信・指令

消防緊急通信指令システム概要

情報指令室は、119番通報の受信により各署へ迅速な出動指令を行うほか、各出動車両に支援情報等を送り、複雑多様化するさまざまな災害に的確に対処しています。



平成25年度に通信指令システムの高機能化を図るため、出動車両の位置情報や運行状況を表示する「車両運用管理装置」をはじめ、各署が出動等で無人となった時でも駆け込んできた通報者が、119番通報できるように「駆け込み通報用電話」を新たに導入しました。

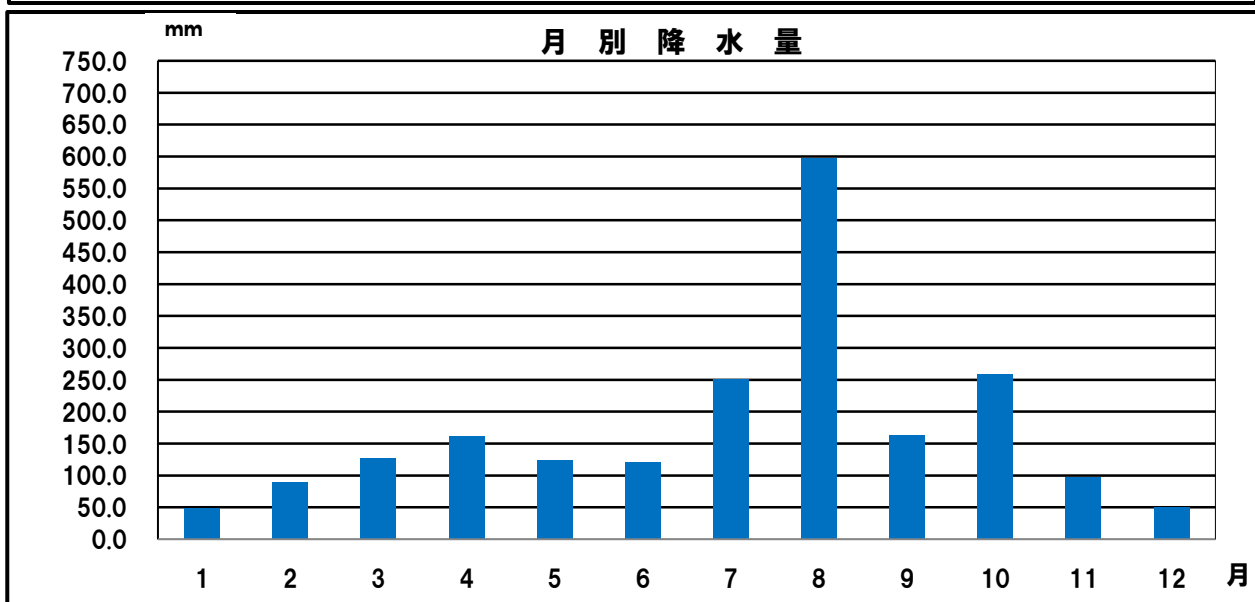
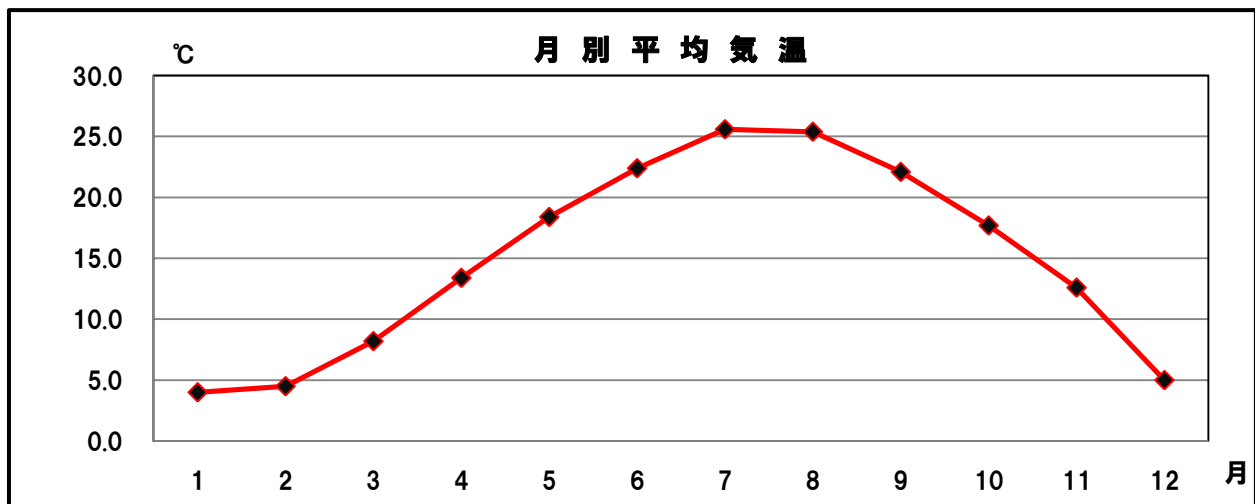


*平成27年4月から、消防・救急無線はアナログ回線からデジタル回線に移行しました。

月 別 気 象 状 況

	主たる風向	風 速 (m/s)		気 温 (℃)			湿 度 (%)		降 水 量 (mm)
		平 均	最大瞬間	平 均	最 高	最 低	平 均	最 低	
1 月	西北西	3.9	24.0	4.0	14.4	-4.2	77.1	38.3	49.0
2 月	西北西	5.4	22.4	4.5	15.9	-2.3	72.7	36.1	89.5
3 月	西北西	4.4	24.8	8.2	22.0	-1.5	77.5	23.8	127.0
4 月	西北西	3.8	24.7	13.4	27.6	1.4	71.1	21.3	161.5
5 月	西北西	3.9	21.6	18.4	33.1	7.2	72.4	27.7	123.5
6 月	西北西	3.2	20.5	22.4	35.6	16.3	83.3	25.2	120.5
7 月	西北西	2.4	15.3	25.6	36.8	19.4	84.6	41.6	251.5
8 月	西北西	2.1	25.4	25.4	35.0	19.7	89.8	50.8	597.5
9 月	西北西	3.6	23.1	22.1	30.1	12.9	78.6	24.4	162.5
10 月	西北西	3.4	27.8	17.7	29.9	7.8	78.7	32.5	258.5
11 月	西北西	3.3	20.1	12.6	26.1	1.3	76.2	31.6	97.0
12 月	西北西	4.7	25.0	5.0	17.3	-4.4	72.9	31.3	50.5
平 均	西北西	3.7		14.9			77.9		174.0

※各項目の最大（最高）値を赤で、最小（最低）値を青で記載しています。



年 次 別 気 象

年	気温の最高最低記録				年 間 寒 暖 日 数				
	最 高		最 低		最 気 高 温	最 気 高 温	最 気 高 温	最 気 低 温	平 気 均 温
	記録値(℃)	記録月日	記録値(℃)	記録月日	35℃以上 の日	30℃～ 35℃の日	25℃～ 30℃の日	0℃以下 の日	0℃以下 の日
17	37.0	8月9日	-5.2	2月22日	3	56	75	51	2
18	38.4	8月11日	-6.0	2月4日	8	42	80	37	2
19	37.9	8月16日	-2.8	2月5日	10	44	123	25	0
20	37.6	7月27日	-3.1	1月28日	10	50	67	40	2
21	34.5	7月14日	-5.8	1月16日	0	55	77	29	0
22	36.9	7月22日	-5.0	2月20日	17	57	46	38	2
23	36.8	8月13日	-5.4	1月14日	6	57	53	58	1
24	35.4	7月27日	-5.7	2月1日	4	46	68	51	2
25	38.9	8月22日	-4.2	1月12日	18	50	70	41	0
26	36.8	7月25日	-4.4	12月28日	3	34	94	41	0

※各項目の最大（最高）値を赤で、最小（最低）値を青で記載しています。

予 防

防 火 対 象 物 一 覧 表

(H27. 3. 31現在)

防火対象物の別			施行令第6条による防火対象物	防火管理者を必要とする防火対象物	
				甲 種	乙 種
1	イ	劇場・映画館・観覧場	1	1	
	ロ	公会堂・集会場	98	23	65
2	イ	キャバレー・カフェー等			
	ロ	遊技場・ダンスホール	3	3	
	ハ	風俗営業等の店舗			
	ニ	カラオケボックス等			
3	イ	待合・料理店の類	1		1
	ロ	飲食店	62	23	24
4		百貨店・マーケット等	94	35	10
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	21	19	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	375	32	1
6	イ	病院・診療所・助産所	29	8	4
	ロ	養護施設・児童福祉施設	24	22	
	ハ	老人サービス等	35	23	2
	ニ	幼稚園・養護学校	8	8	
7		小・中・高・大学・各種学校	86	19	4
8		図書館	4	2	
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等			
	ロ	公衆浴場	1		
10		停車場	4		
11		神社・寺院・教会の類	34	4	1
12	イ	工場・作業場	540	56	1
	ロ	映画・テレビスタジオ			
13	イ	車庫・駐車場	45		
	ロ	飛行機等の格納庫			
14		倉庫	372	1	
15		前各項に該当しない事業所	430	30	9
16	イ	特定複合用途建築物	208	64	24
	ロ	その他の複合用途建築物	99	2	3
17		文化財等の建造物	11	2	
18		延長50m以上のアーケード	1		
合 計			2,586	377	149

各種届出処理状況

(H26.4.1～H27.3.31)

区 分	件 数
建 築 同 意 件 数	72
消 防 用 設 備 等 着 工 届	74
消 防 用 設 備 等 設 置 届	91
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	38
消 防 計 画	49
防 火 管 理 者 選 解 任 届	77
乾 燥 設 備	
炉	1
厨 房 設 備	
ボ イ ラ ー 設 備	2
給 湯 湯 沸 設 備	4
変 電 設 備	14
発 電 設 備	1
サ ウ ナ 設 備	
蓄 電 池 設 備	6
ネ オ ン 管 灯 設 備	
り 災 証 明 交 付 数	30
喫 煙 ・ 裸 火 の 使 用 等	3
火 災 と ま ぎ ら わ し い 行 為	118
煙 火 打 上	27
道 路 交 通 障 害	865
水 道 の 断 水	2
催 物 開 催	17
少 量 危 険 物	14
指 定 可 燃 物	12
液 化 石 油 ガ ス	12
合 計	1,529

危険物製造所等の施設推移状況（完成検査済）

（H27.3.31現在）

製造所等 年度別		平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度
合 計		385	377	365	364	358
製 造 所		2	2	2	2	2
貯蔵所	屋 内 貯 蔵 所	51	51	50	48	48
	屋 外 タ ン ク 所 貯 蔵 所	71	71	69	68	68
	屋 内 タ ン ク 所 貯 蔵 所	48	42	42	42	42
	地 下 タ ン ク 所 貯 蔵 所	55	55	53	52	50
	簡 易 タ ン ク 所 貯 蔵 所	0	0	0	0	0
	移 動 タ ン ク 所 貯 蔵 所	12	12	12	12	11
	屋 外 貯 蔵 所	16	16	16	16	16
取扱所	給 油 取 扱 所	57	57	53	55	55
	販 売 取 扱 所	0	0	0	0	0
	一 般 取 扱 所	73	71	68	69	66

危険物製造所等申請・届出処理状況

(H26.4.1~H27.3.31)

月別 区分	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	197	21	20	21	16	18	6	28	16	21	4	10	16
許可 (設置・変更)	39	3	4	6	4	2	1	5	4	5		1	4
完成検査 (設置・変更)	35	1	1	3	4	5	2	4	3	5	2	1	4
仮使用承認申請書	34	2	4	5	4	2	1	4	4	5		1	2
仮貯蔵仮取扱承認 申請書	0												
完成検査前検査申請書	0												
保安監督者 選任・解任届出書	20	7	3	2				4		1	2		1
設置者の氏名 変更届出書	11	3	1		2		1			1		1	2
譲渡引渡届出書	8		1			3		4					
予防規程認可申請書	3	1		1					1				
品名、数量又は指定数 量の倍数変更届出書	2					2							
廃止届出書	7		2		1				2	1		1	
休止届出書	0												
資料提出書	36	4	4	2	1	4	1	7	2	3		5	3
危険作業開始届出書	0												
危険物事故発生届	0												
在庫管理計画書	0												
完成検査済証 再交付申請書	2			2									

「住宅用火災警報器設置済シール交付事業」の結果等

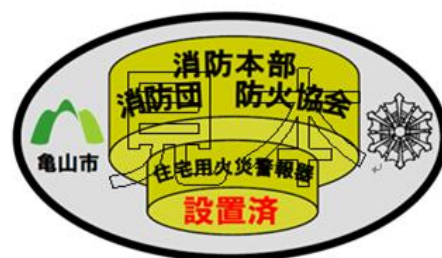


☆ 事業の概要 ☆

★ 住宅用火災警報器を条例基準に従って設置しているご家庭に「設置済シール」を交付し、玄関先に表示することで、地域の住警器設置促進及び防火意識の向上を図ります。また、悪質業者の訪問販売による被害を防止することを目的に実施しています。

★ 対 象 : 市内の全ての住宅
★ 実施期間 : 平成25年度～平成28年度

★ シールの交付について
消防職員又は消防団員が戸別訪問により交付します。



◎ 訪問世帯	9, 113世帯	(平成25年11月～平成27年3月末)
適正に設置 (シール交付世帯)	6, 655世帯	
一部に設置 (シール不交付世帯)	517世帯	
未設置	1, 941世帯	
設置率 (シール交付率)	73.03%	

☆ 万が一、警報が鳴った時の正しい対処について ☆

① 火災の時

警報器が鳴り、火災を見つけたら次のような対処をしましょう。

- (1) 可能なら初期消火をしましょう。
- (2) 周囲に**大声**で知らせましょう。
- (3) **避難**しましょう。
- (4) **119番通報**しましょう。



② 火災でない時

警報音停止ボタンを押すか、室内の換気をするすると警報音は止まります。以下のものに注意！

- (1) 燻煙式殺虫剤
- (2) ホコリや小さな虫
- (3) 調理時に発生する大量の煙や湯気

③ 電池切れの場合

電池を新しいものに交換してください。

④ 機器異常の場合

「ピッピッピッ」と一定の間隔で鳴る場合は、機器の異常です。

※ 新しい火災警報器に交換しましょう。

購入の際には下記のNSマーク付きのものを選ぶようにしましょう。



その他 ※ 悪質な訪問販売にご注意を！

消防職員などを装い、義務化されたことを理由に個人宅を訪問し、不適切な価格で売りつける事例が増加しています。

消防職員などが販売をあっせんしたり、特定の業者に販売を委託することも絶対にありません。

幼 少 年 ・ 女 性 防 火 委 員 会 加 入 団 体 一 覧 表

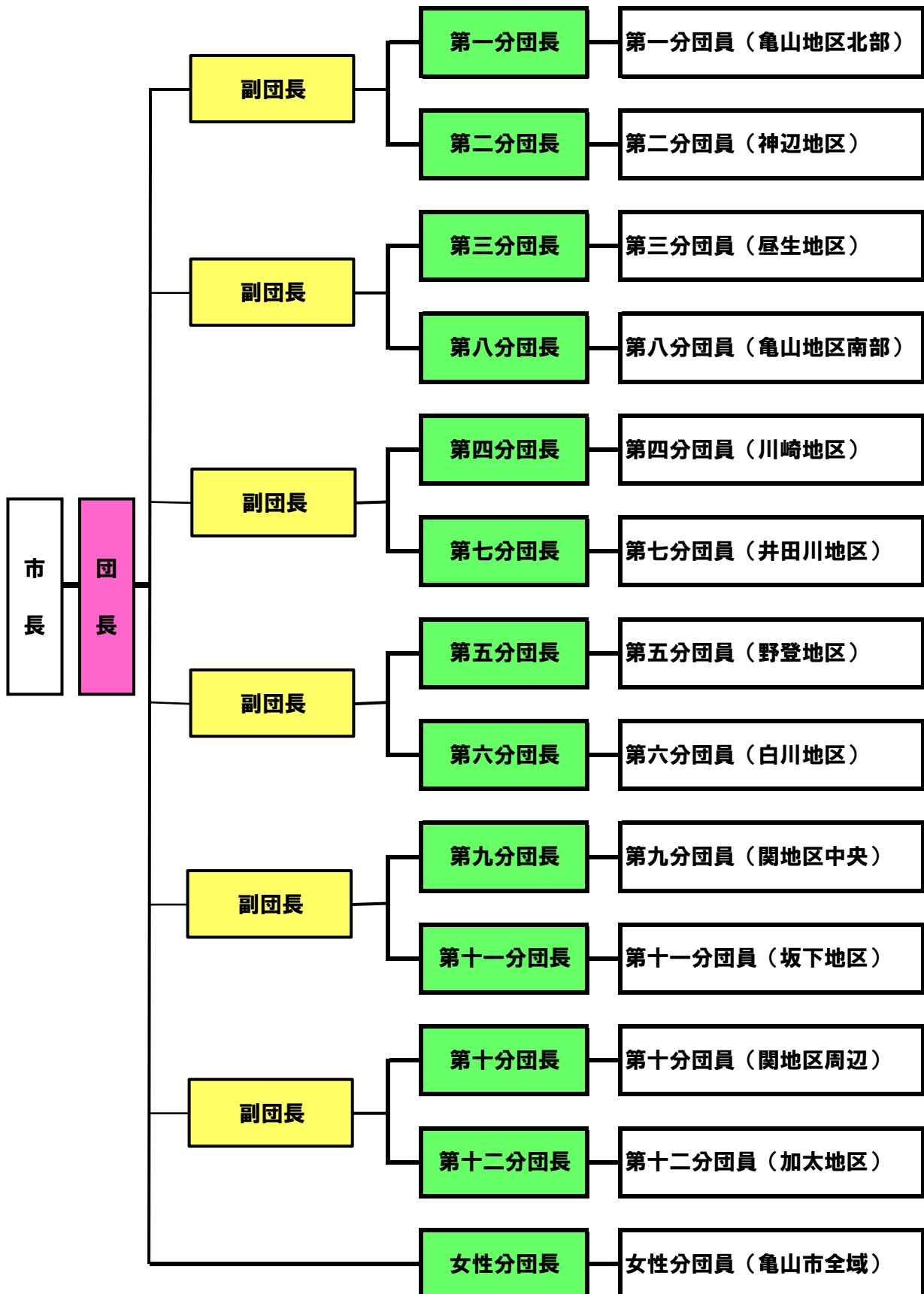
(H27. 4. 1現在)

ク ラ ブ 名 称	クラブ員数	結成年月日
亀 山 愛 児 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	75	昭和59年12月1日
亀 山 市 第 三 愛 護 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	26	昭和59年12月1日
川 崎 愛 児 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	63	昭和59年12月1日
坂 本 女 性 防 火 ク ラ ブ	13	昭和63年7月1日
池 山 女 性 防 火 ク ラ ブ	6	昭和63年7月1日
安 楽 女 性 防 火 ク ラ ブ	10	昭和63年7月1日
原 尾 女 性 防 火 ク ラ ブ	9	昭和63年7月1日
辺 法 寺 女 性 防 火 ク ラ ブ	1	昭和63年7月1日
小 川 女 性 防 火 ク ラ ブ	15	平成6年6月1日
楠 平 尾 女 性 防 火 ク ラ ブ	1	平成8年4月1日
C E F み ず ほ 台 女 性 防 火 ク ラ ブ	17	平成22年4月1日
亀 山 市 少 年 消 防 ク ラ ブ	25	平成24年4月1日
合 計	261	

消 防 団

消 防 団 組 織

定員415名
実員404名（平成27年4月1日現在）



歴 代 消 防 団 長 一 覧 表

旧 亀 山 市 （合併前）

氏 名	生年月日	就任年月日	在職年数
		退任年月日	
伊 藤 栄 二 郎	明治42年10月13日	昭和30年5月1日	14年5力月
		昭和44年10月10日	
一 見 忠 夫	大正2年7月9日	昭和44年12月1日	11年4力月
		昭和56年3月31日	
村 山 守	昭和6年8月7日	昭和56年4月1日	10年0力月
		平成3年3月31日	
鈴 木 吉 男	大正13年2月25日	平成3年4月1日	6年7力月
		平成9年10月31日	
葛 西 行 弘	昭和10年10月30日	平成9年11月1日	7年2力月
		平成17年1月10日	

旧 関 町

氏名	生年月日	就任年月日	在職年数
		退任年月日	
山 内 喜 久 夫	大正2年5月24日	昭和30年4月17日	4年9力月
		昭和35年1月27日	
吉 沢 利 信	大正3年3月26日	昭和35年1月28日	11年3力月
		昭和46年4月30日	
松 林 孝 太 郎	大正15年3月1日	昭和46年5月1日	5年9力月
		昭和52年1月31日	
川 戸 薫	昭和3年1月3日	昭和52年2月1日	18年2力月
		平成7年3月31日	
山 内 克 巳	昭和11年5月25日	平成7年4月1日	6年0力月
		平成13年3月31日	
落 合 秀 史	昭和12年12月4日	平成13年4月1日	3年9力月
		平成17年1月10日	

亀 山 市 （合併後）

氏 名	生年月日	就任年月日	在職年数
		退任年月日	
葛 西 行 弘	昭和10年10月30日	平成17年1月11日	8年3ヶ月
		平成25年3月31日	
松 尾 幸 夫	昭和22年10月1日	平成25年4月1日	2年0ヶ月
		現在に至る	

消 防 団 員 配 置 表

(H27. 4. 1 現在)

階級別 組織別	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
実 員	404	1	6	13	26	44	46	268
団 本 部	7	1	6					
第 一 分 団	29			1	2	4	3	19
第 二 分 団	33			1	2	4	5	21
第 三 分 団	33			1	2	4	3	23
第 四 分 団	40			1	2	4	5	28
第 五 分 団	40			1	2	4	6	27
第 六 分 団	33			1	2	4	4	22
第 七 分 団	20			1	2	2	2	13
第 八 分 団	26			1	2	2	2	19
第 九 分 団	36			1	2	4	4	25
第 十 分 団	39			1	2	4	4	28
第十一分団	19			1	2	3	3	10
第十二分団	30			1	2	3	3	21
女性分団	19			1	2	2	2	12

消 防 団 員 年 令 表

(H27. 4. 1 現在)

階 級 別 年 齢 別	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
合 計	404	1	6	13	26	44	46	268
平均年令	42.6	65.0	62.0	55.8	53.8	49.2	47.0	39.5
18才	1							1
19才	0							
20才	0							
21才	0							
22才	2							2
23才	3							3
24才	1							1
25才	2							2
26才	4							4
27才	1							1
28才	5							5
29才	8							8
30才	2							2
31才	11						1	10
32才	4							4
33才	7							7
34才	12							12
35才	9						1	8
36才	13							13
37才	20							20
38才	19					1	1	17
39才	17					1	1	15
40才	18					1	1	16
41才	21					3	1	17
42才	18						4	14
43才	21				2	1	5	13
44才	17			1	1	3	2	10
45才	19			1	1	3	2	12
46才	11						2	9
47才	14						4	10
48才	14			1		3	3	7
49才	14				2	6	1	5
50才	23			1	4	7	4	7
51才	7					3	3	1
52才	9			1	2		3	3
53才	5			1	1	1	1	1
54才	9		1		3	4	1	
55才	2					2		
56才	6				1	2	3	
57才	3							3
58才	2				1		1	
59才	3			2	1			
60才	5				2	1		2
61才	6				2	1	1	2
62才	6		1	3	1	1		
63才	1		1					
64才	3		2	1				
65才以上	6	1	1	1	2			1

消 防 団 車 両 等 一 覧 表

消防ポンプ自動車 年式 平成26年

水槽付消防ポンプ自動車が進入困難な道路狭
隘地域に容易に進入することが可能で、早期に
火災現場直近の水利を確保し、放水体制を整え
ることが可能です。



小型動力ポンプ付積載車 年式 平成27年

小型のトラックに小型動力ポンプ（可搬ポン
プ）を積んだ車両です。消防団車両に多く配備
されています。



小型動力ポンプ付積載軽四輪車

年式 平成27年

軽自動車に小型動力ポンプ（可搬ポンプ）を
積んだ車両です。消防団車両で現在市内に女性
分団車両を含め5台配備されています。



山林火災用軽四輪車

年式 平成10年

水槽付消防ポンプ自動車や、消防ポンプ自動
車が進入困難な山道、林道に容易に進入するこ
とが可能で、山間部の多い亀山市では活躍して
います。



小型動力ポンプ付台車

年式 平成23年

小型動力ポンプ付台車は、容易に操作ができ
消防自動車が登場到着前に、早期に火災現場直
近の水利を確保し、放水体制を整えることが可
能です。



消 防 の 歌

亀山市消防の歌

作詞 滝田 常晴
作曲 青木 玲二

大らかに力強く

す す か や ま な み く も あ - お く
あ ゆ み め か し い ふ る さ - と
ぶ ん か を ま も る こ の し め い い ざ こ と あ ら ば さ き が け て お
お か め や ま し し ょ う ば う わ れ ら

亀山市消防の歌

作詞 滝田 常晴
作曲 青木 玲二

一、鈴鹿やまなみ 雲青く

歴史ゆかしい ふるさとの
文化を守る この使命
いざことあらば さきがけて
おお亀山市消防 われら

二、火にも水にも たゆみなく

つねに備えて はらからの
生命を守る この力
堅固く こぞりたつ
おお亀山市消防 われら

三、進む時代に たくましく

究める道は 遠くとも
みがき鍛えて さえる技術
誇りも高く 光り呼ぶ
おお亀山市消防 われら